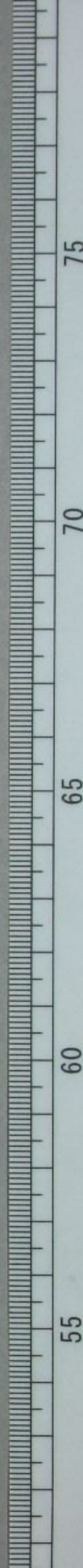


局機

附卷

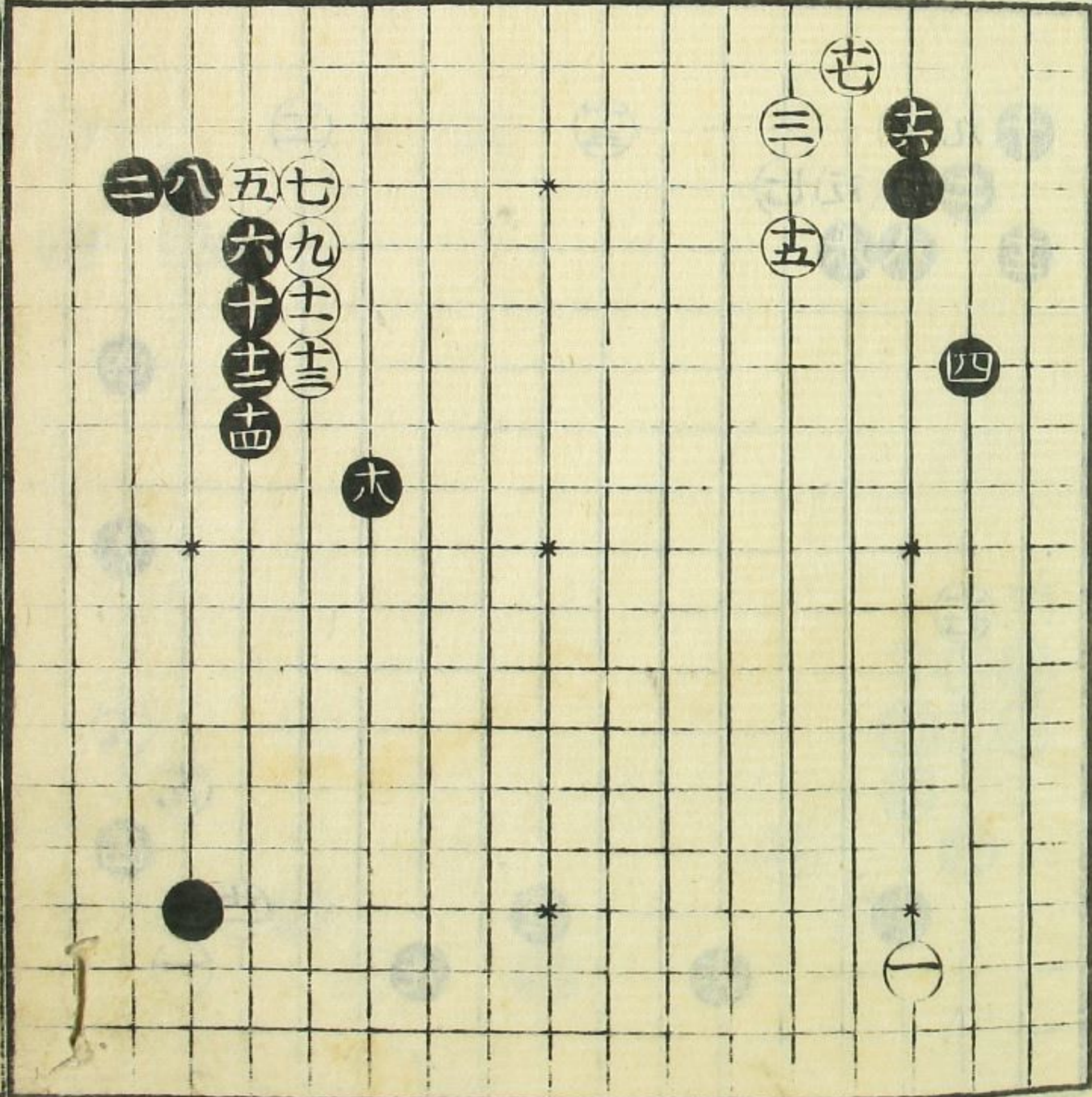
四

79
689
4.



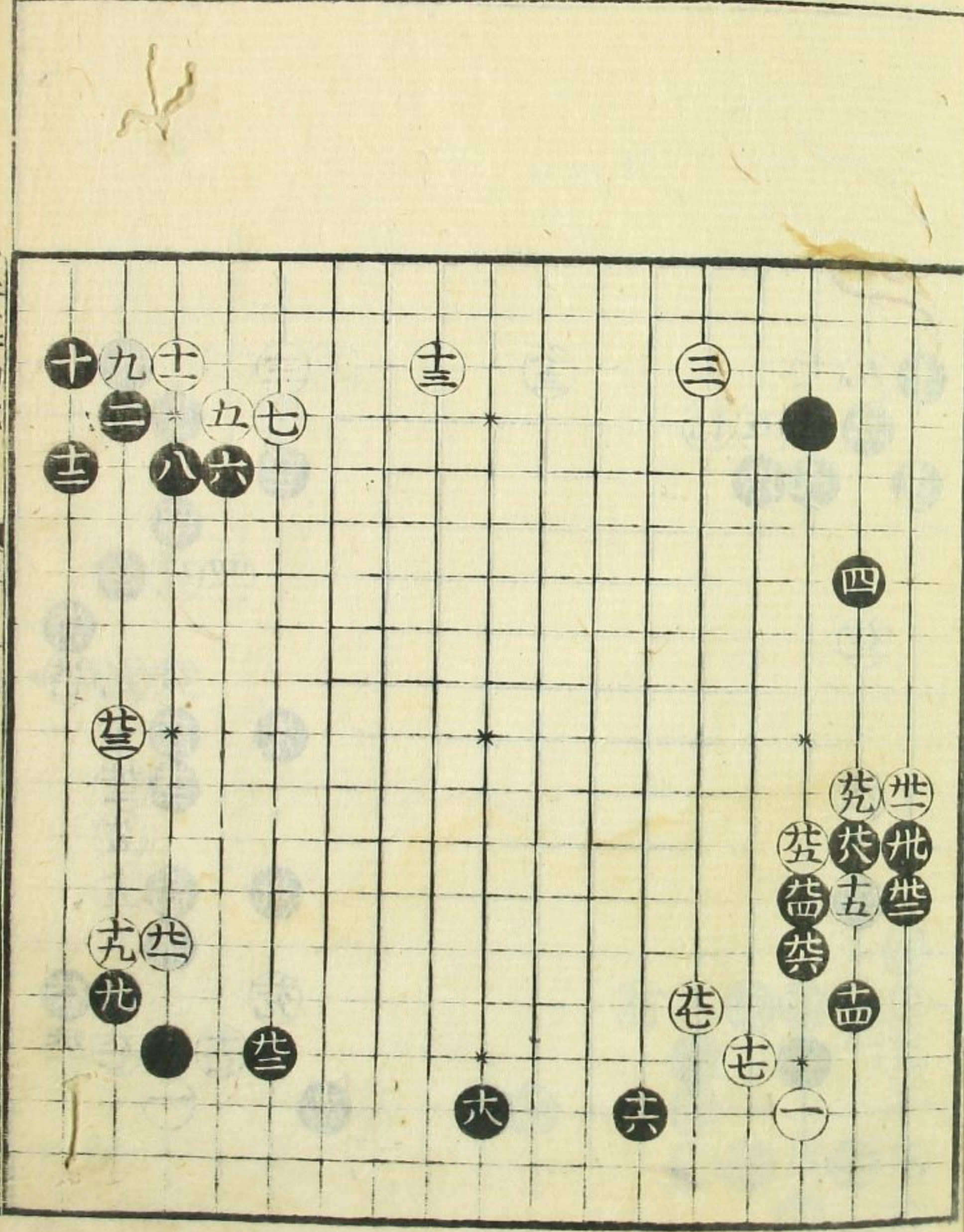
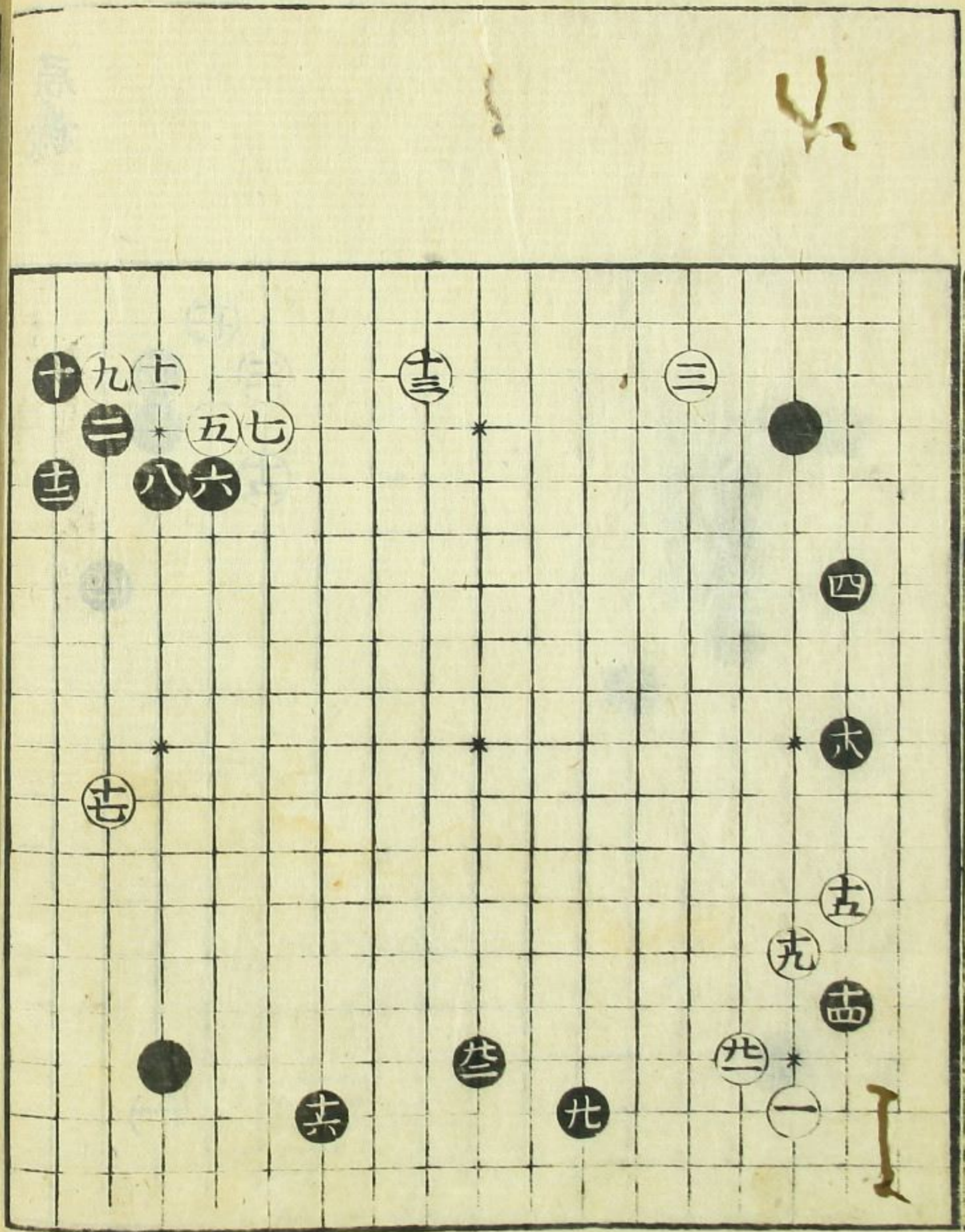


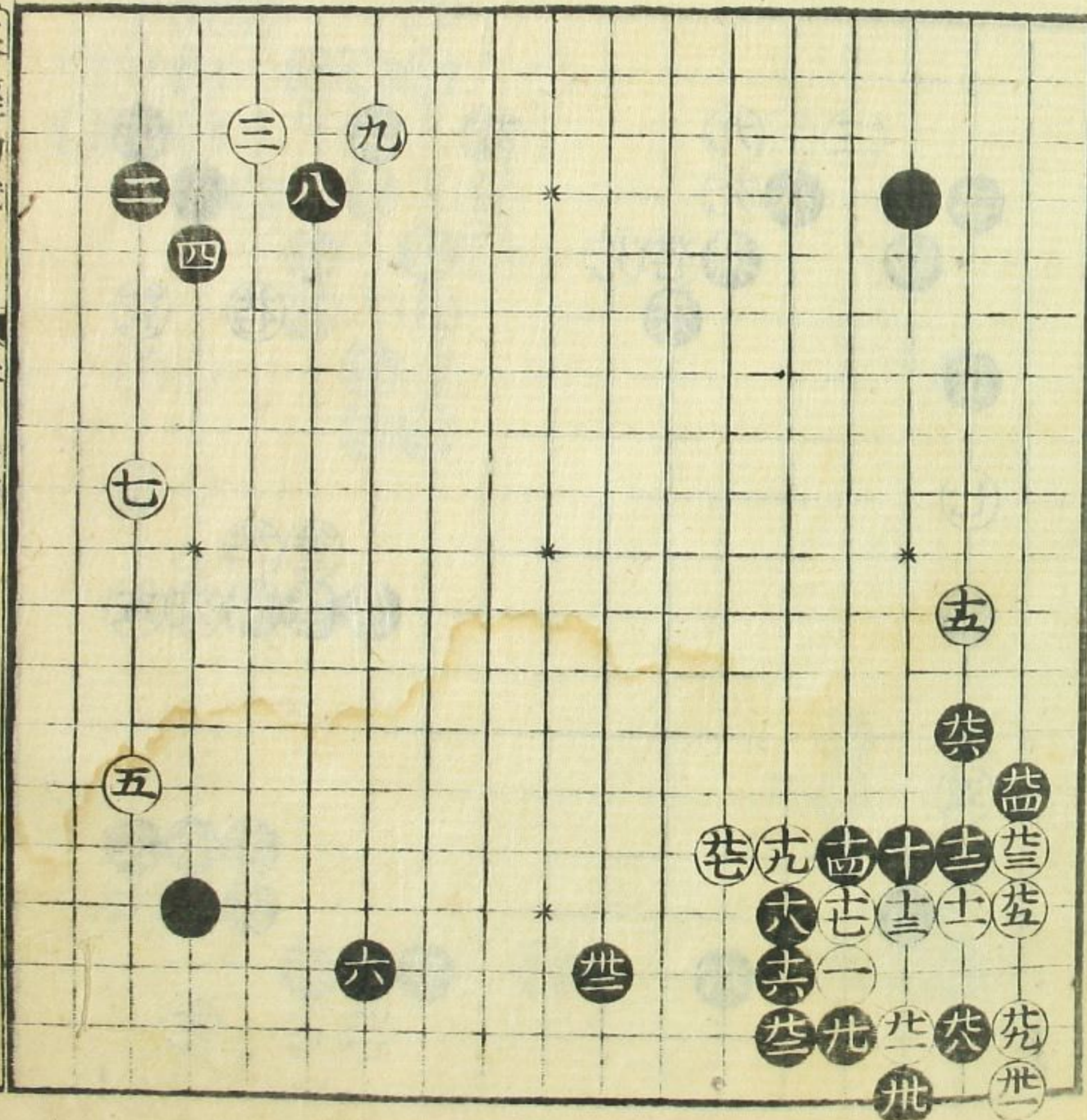
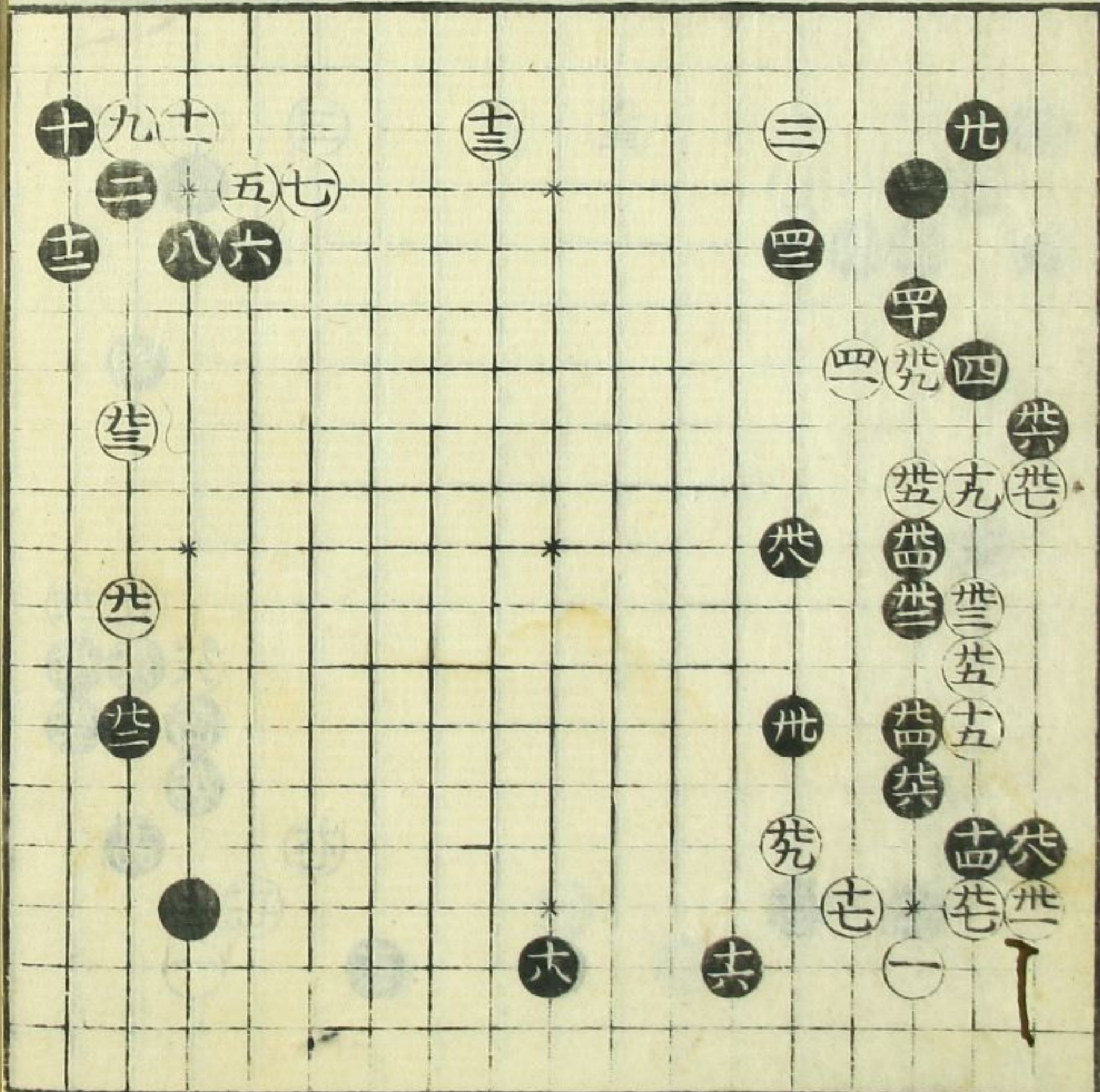
局機

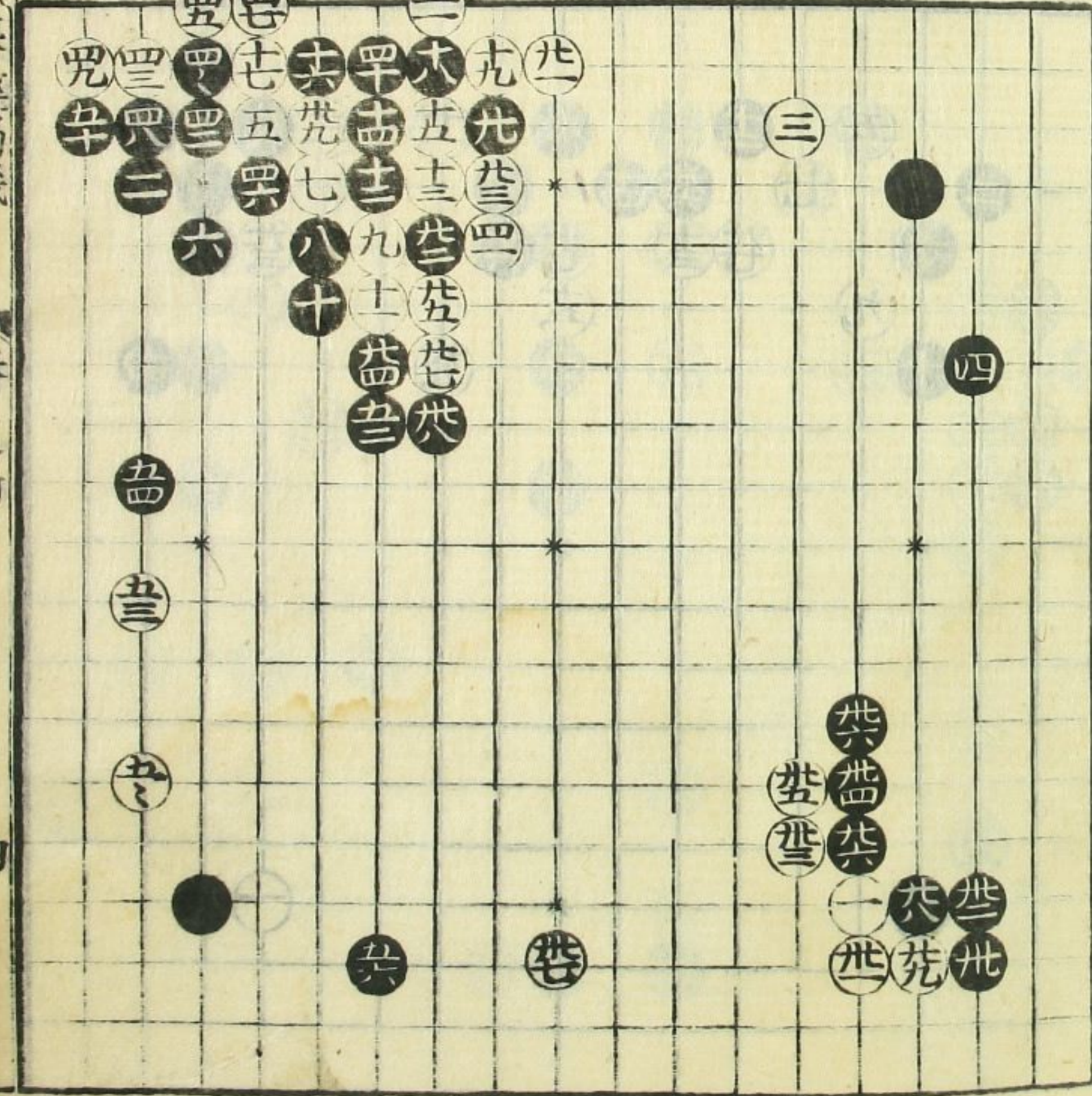
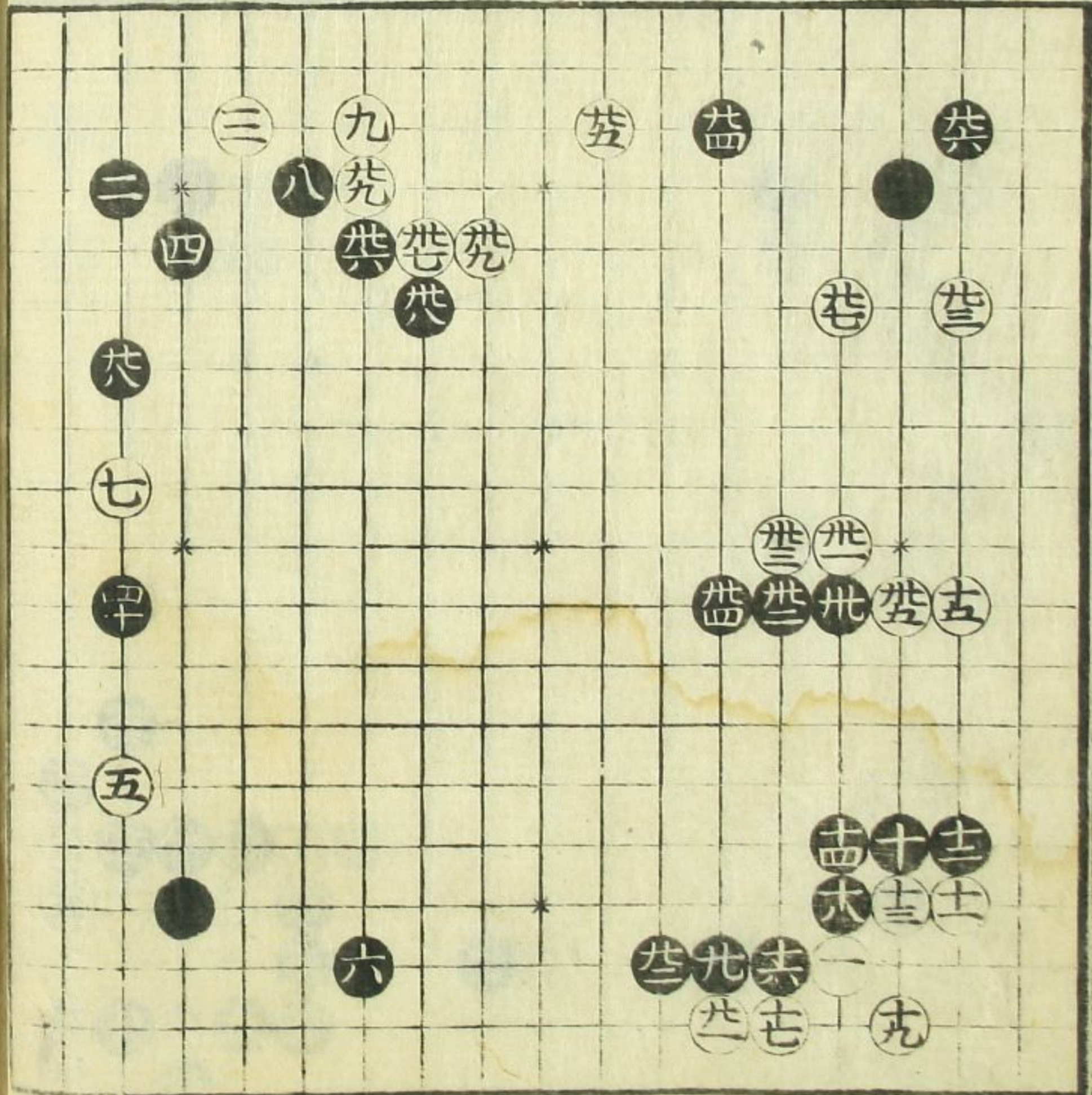


書經局機

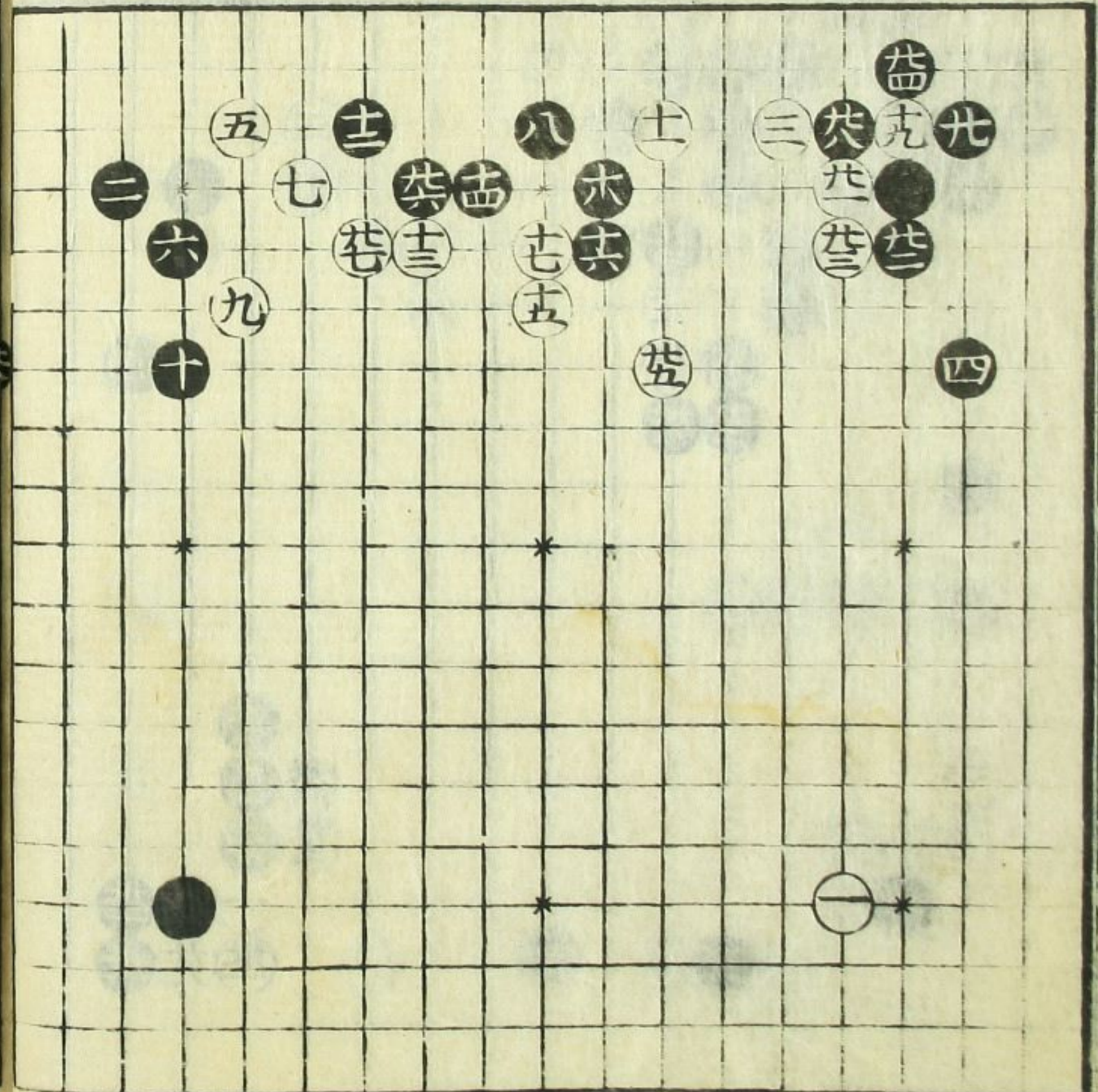
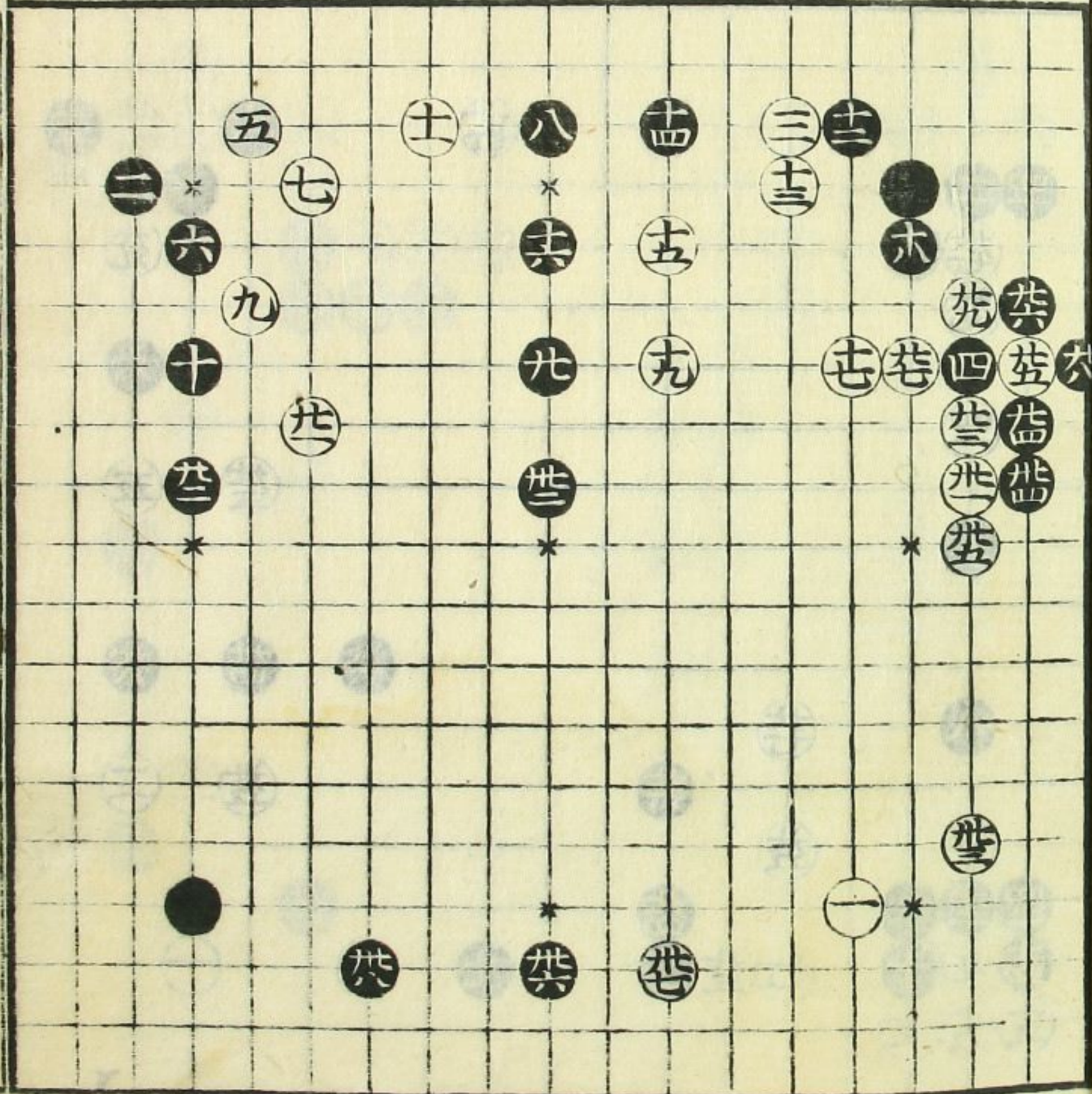
卷之四

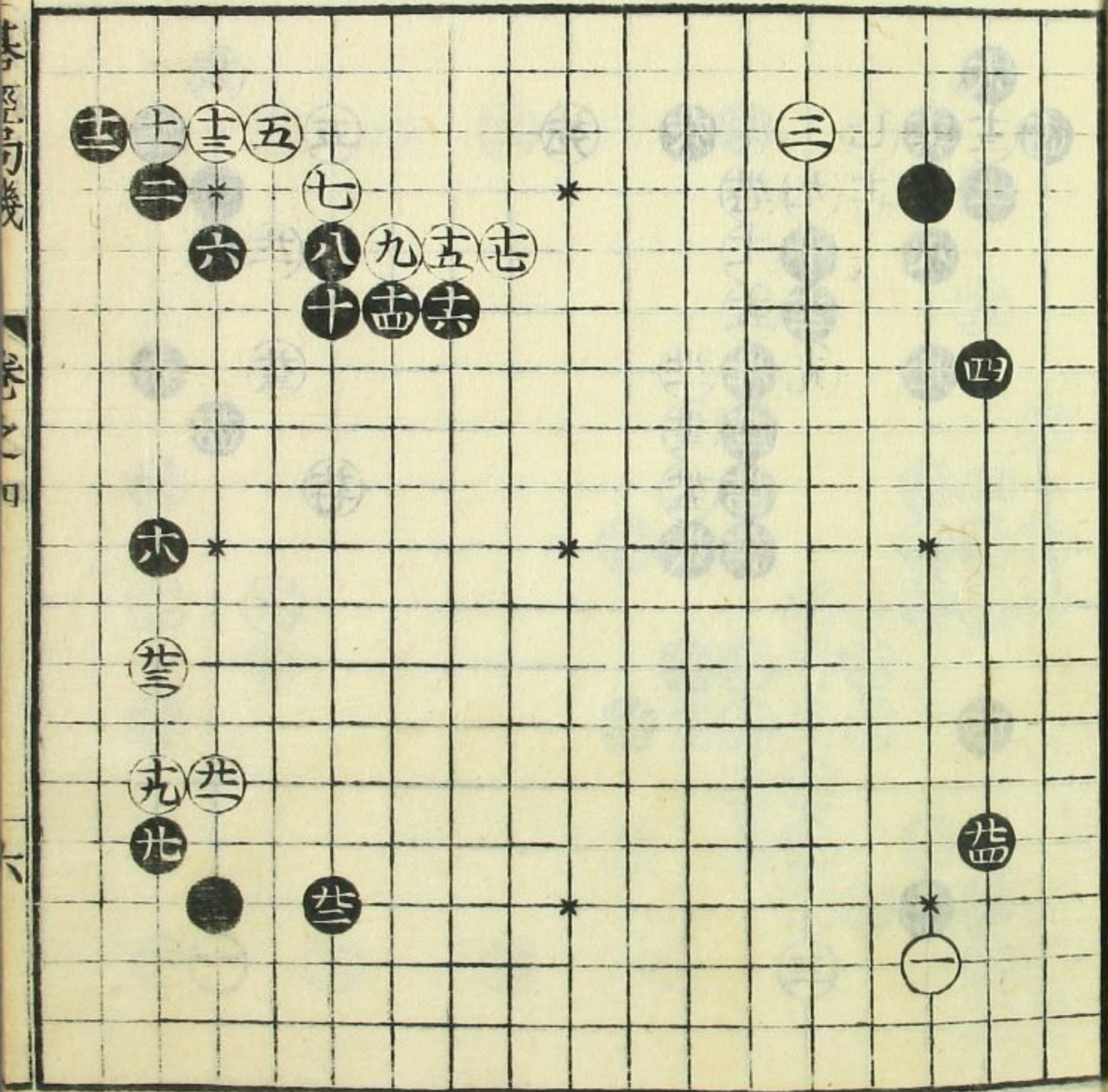
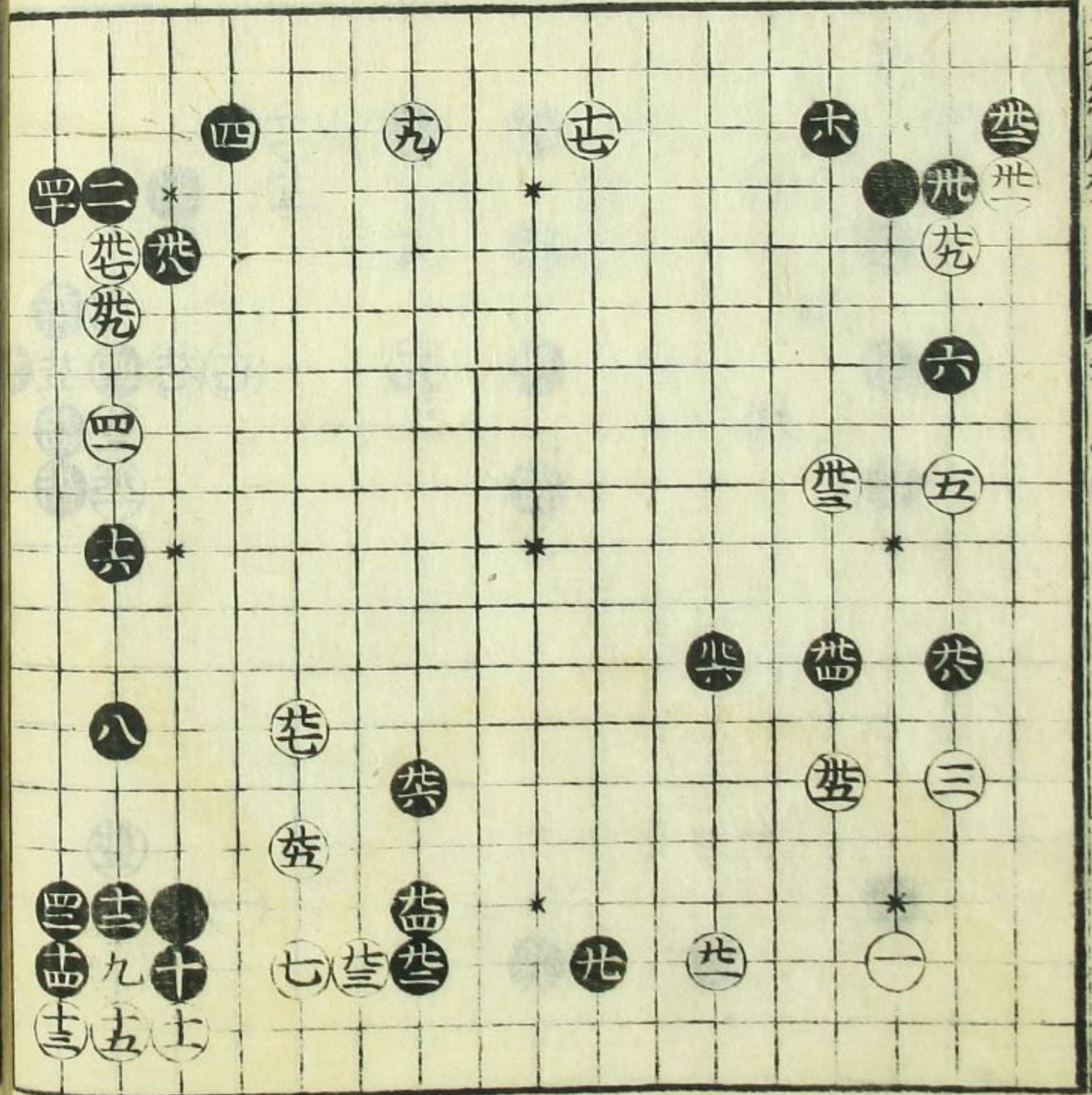




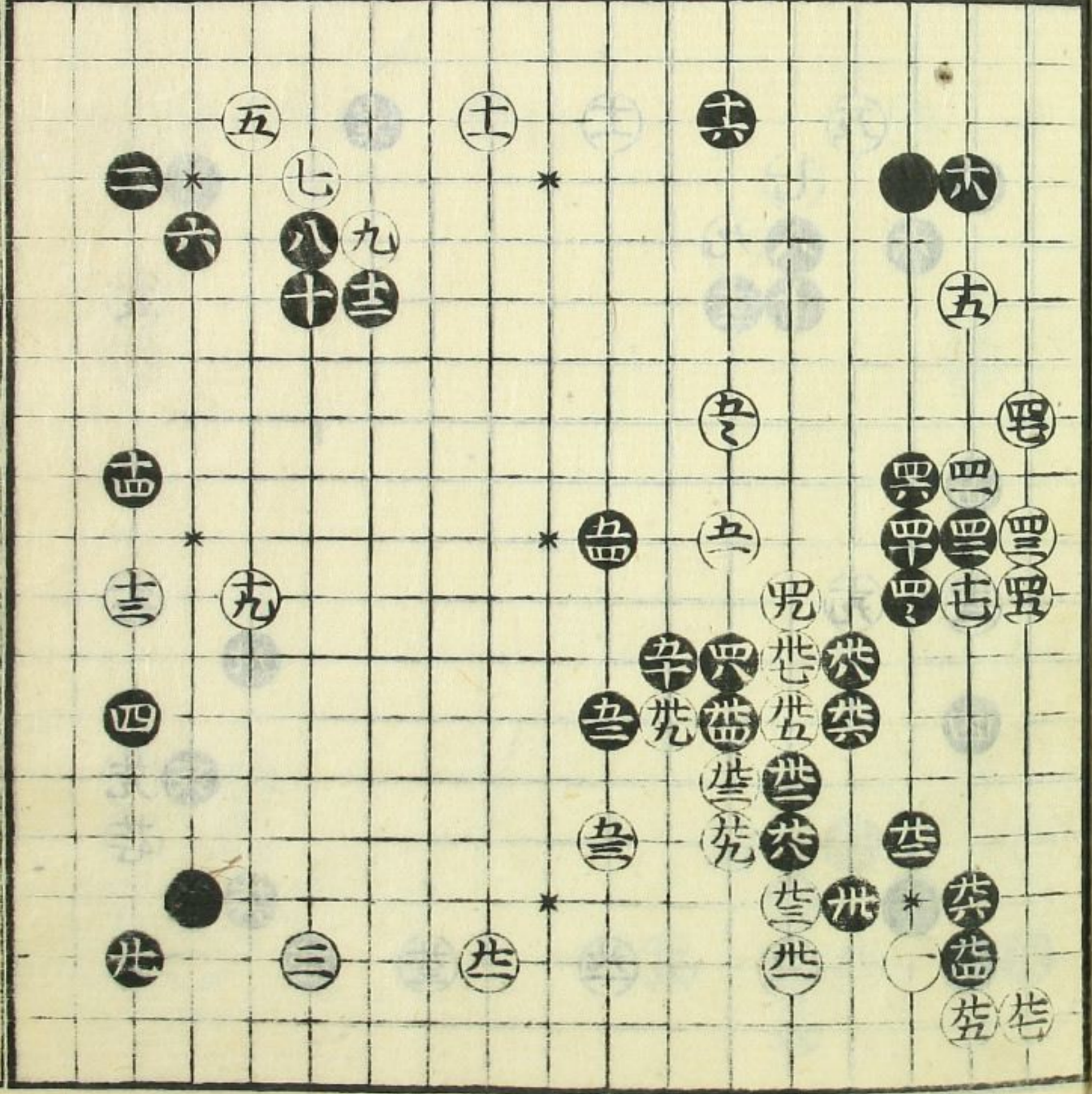
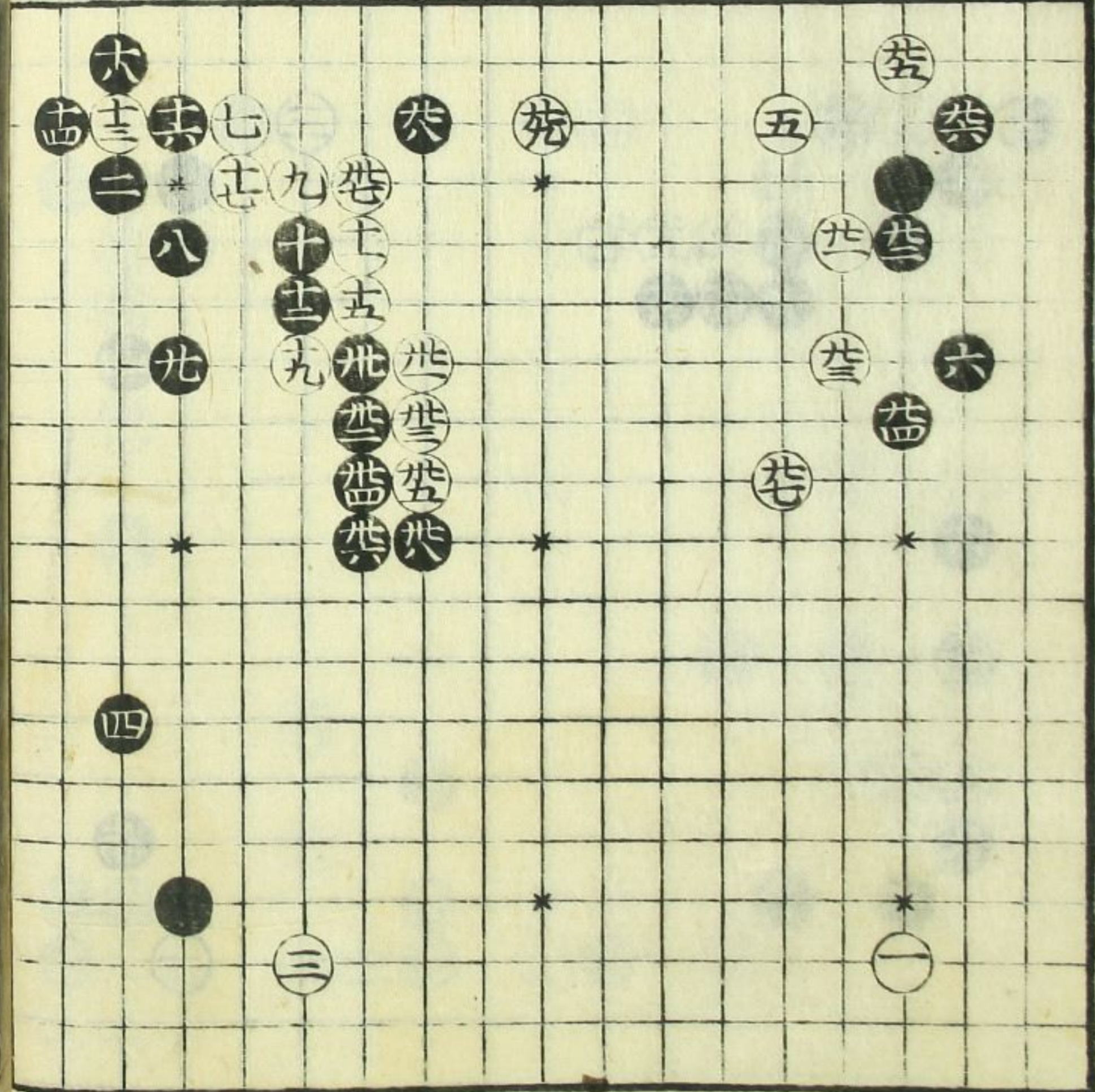


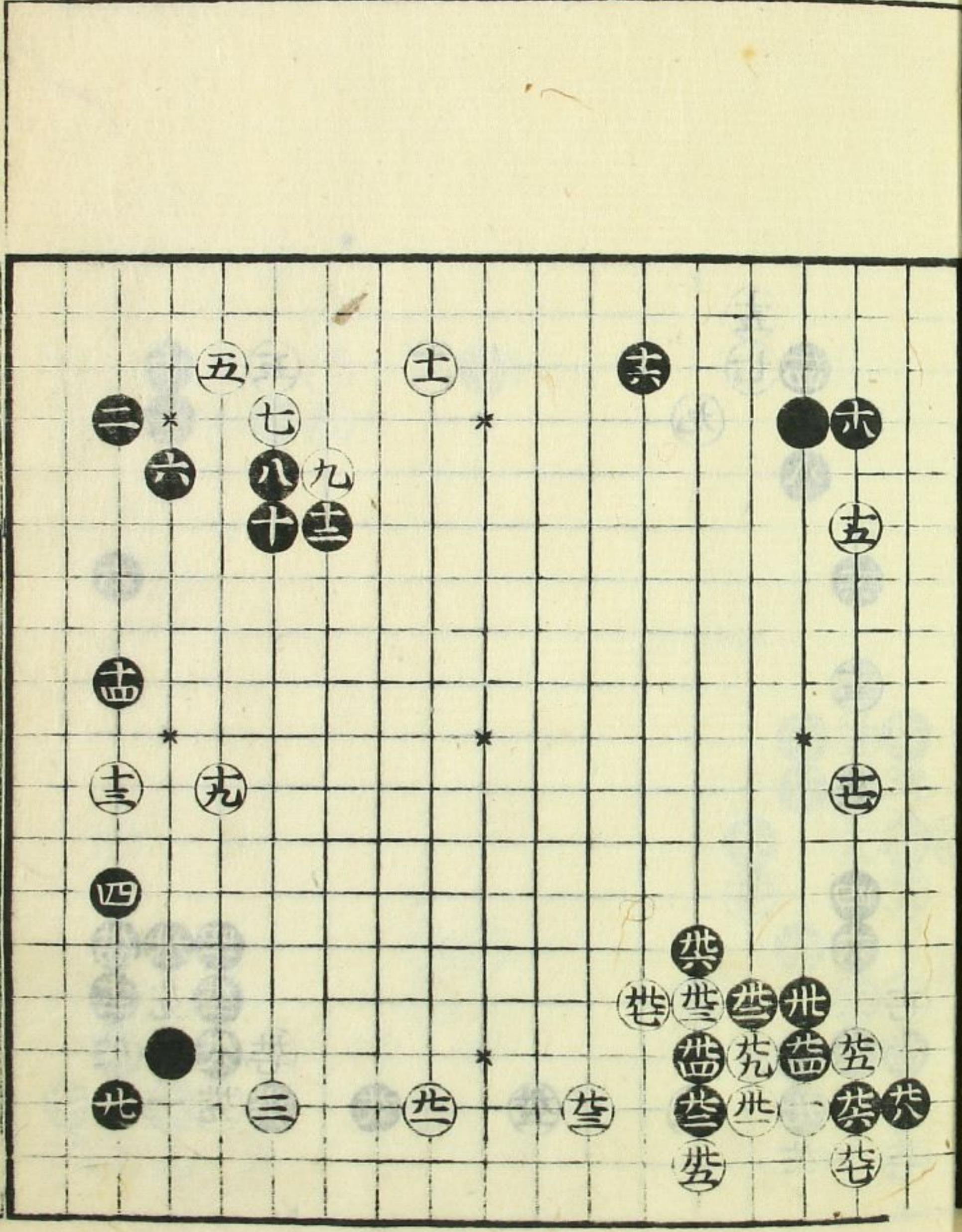
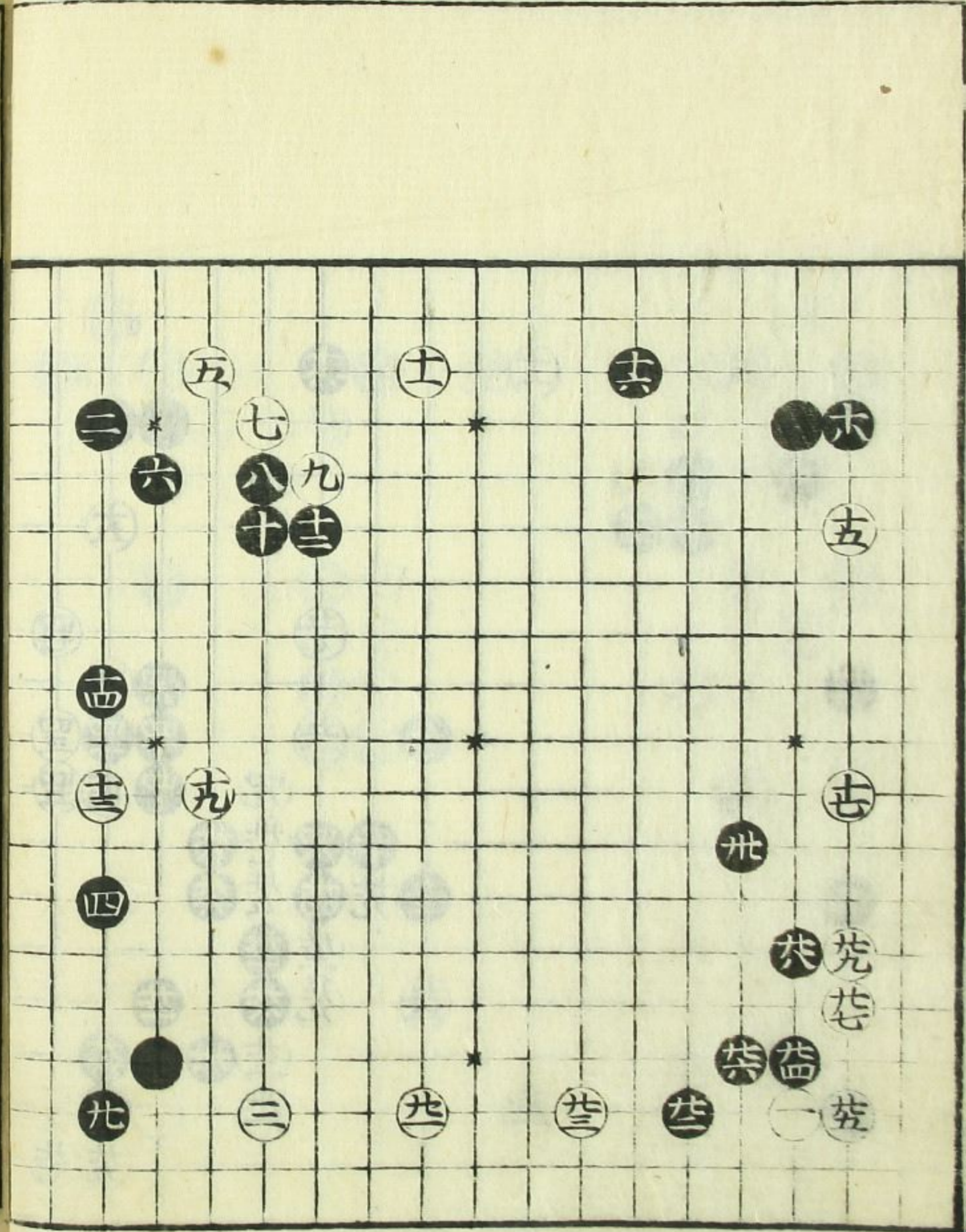
卅
ト
ワ
ク

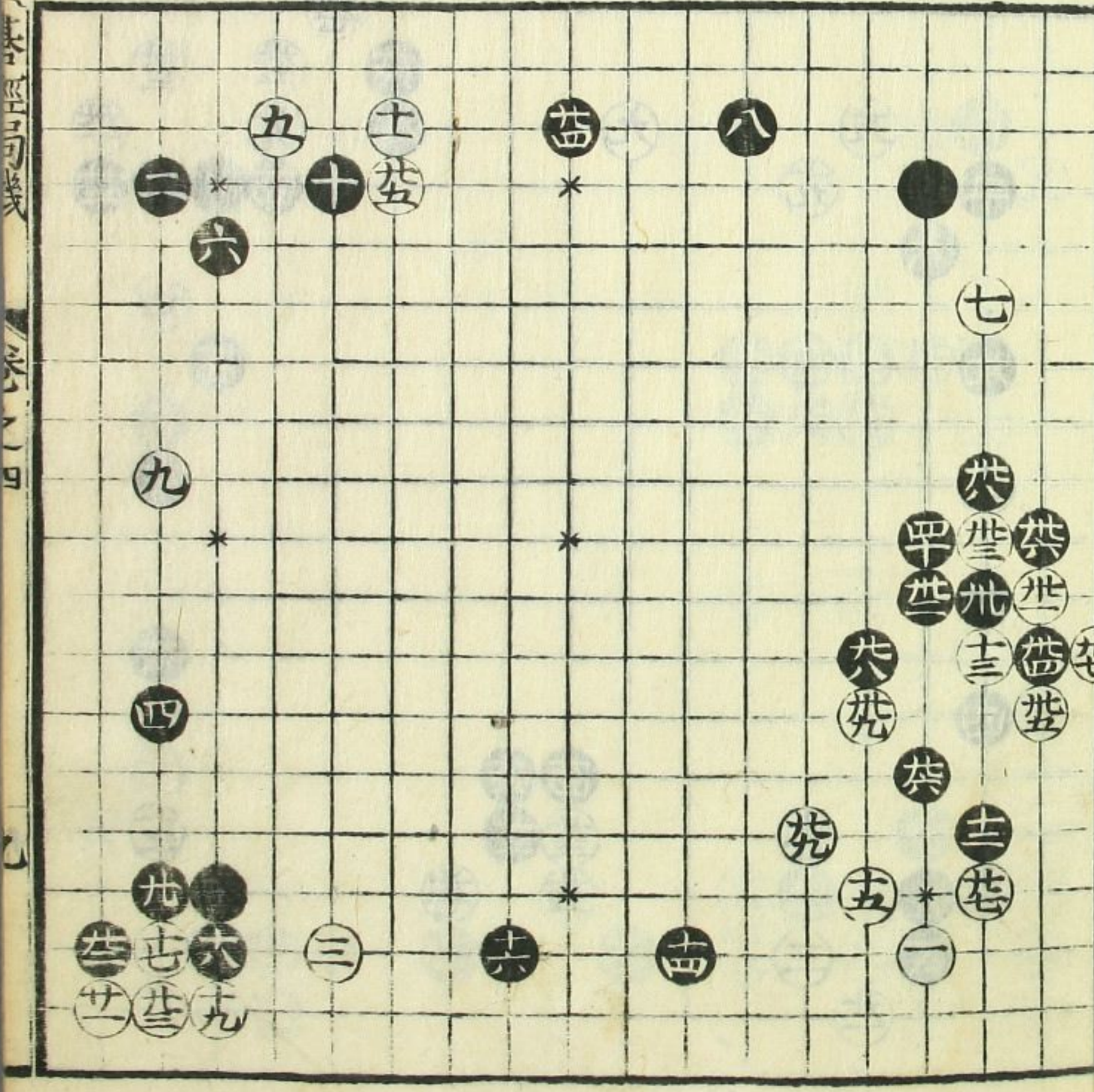
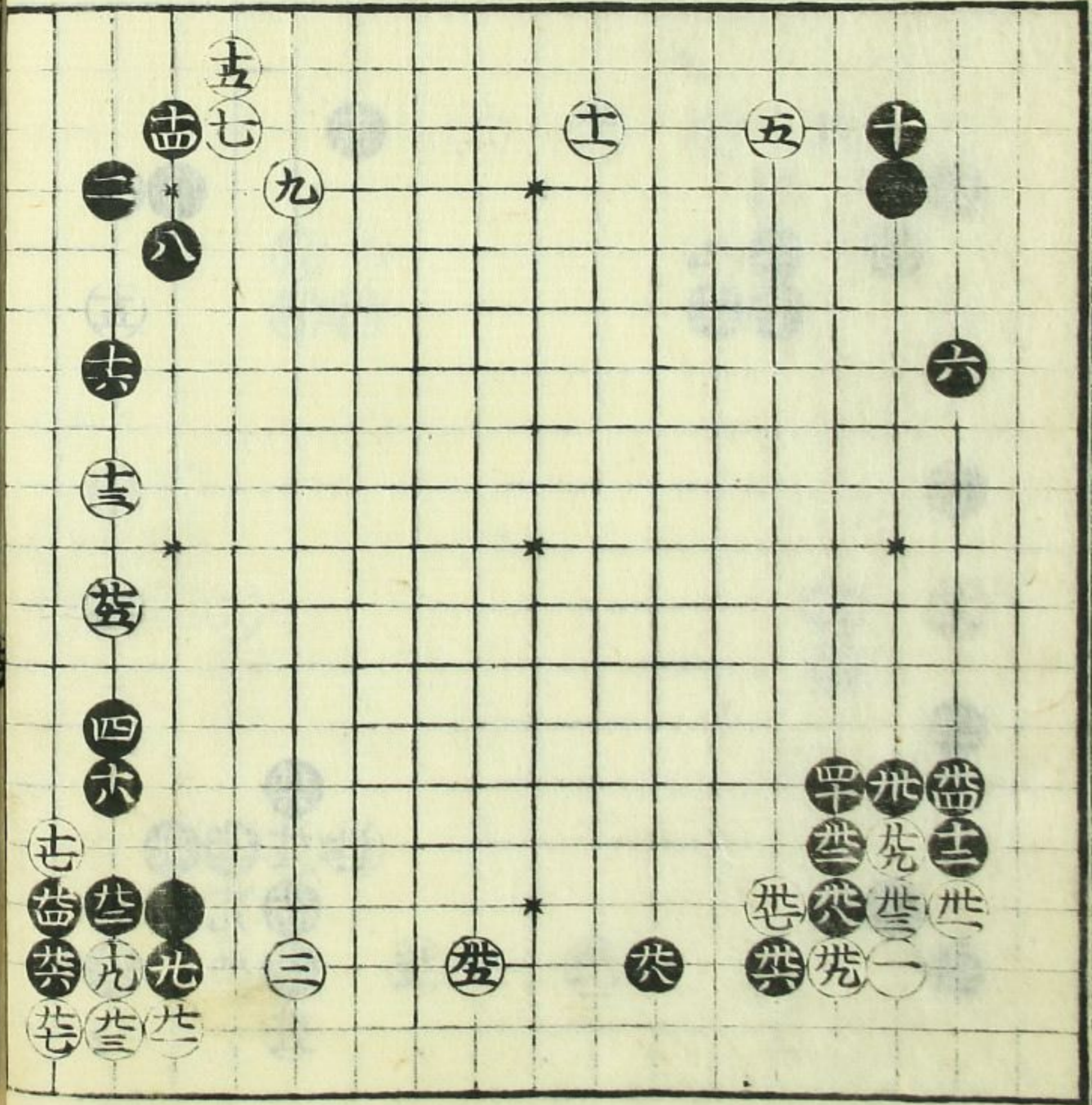


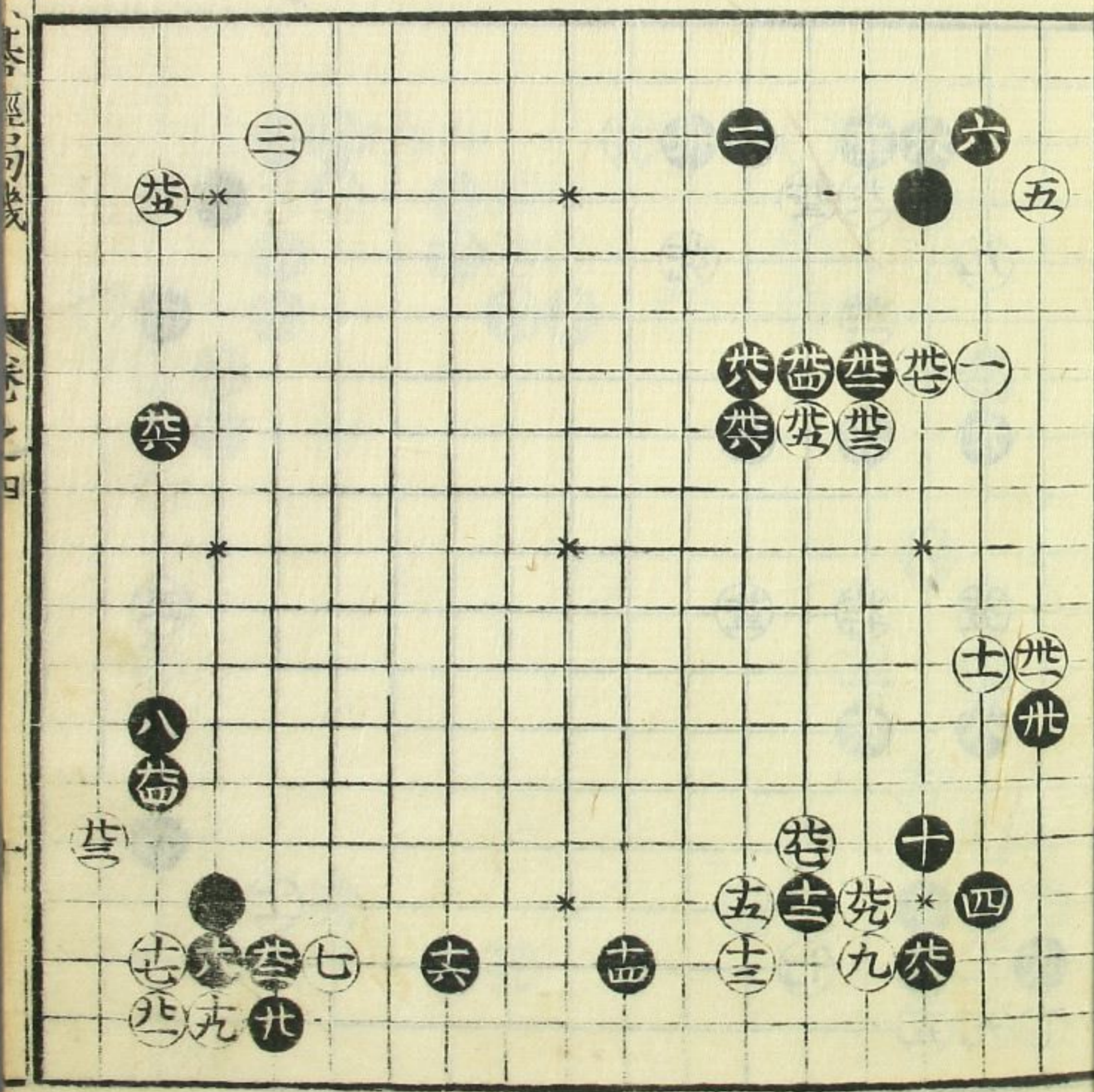
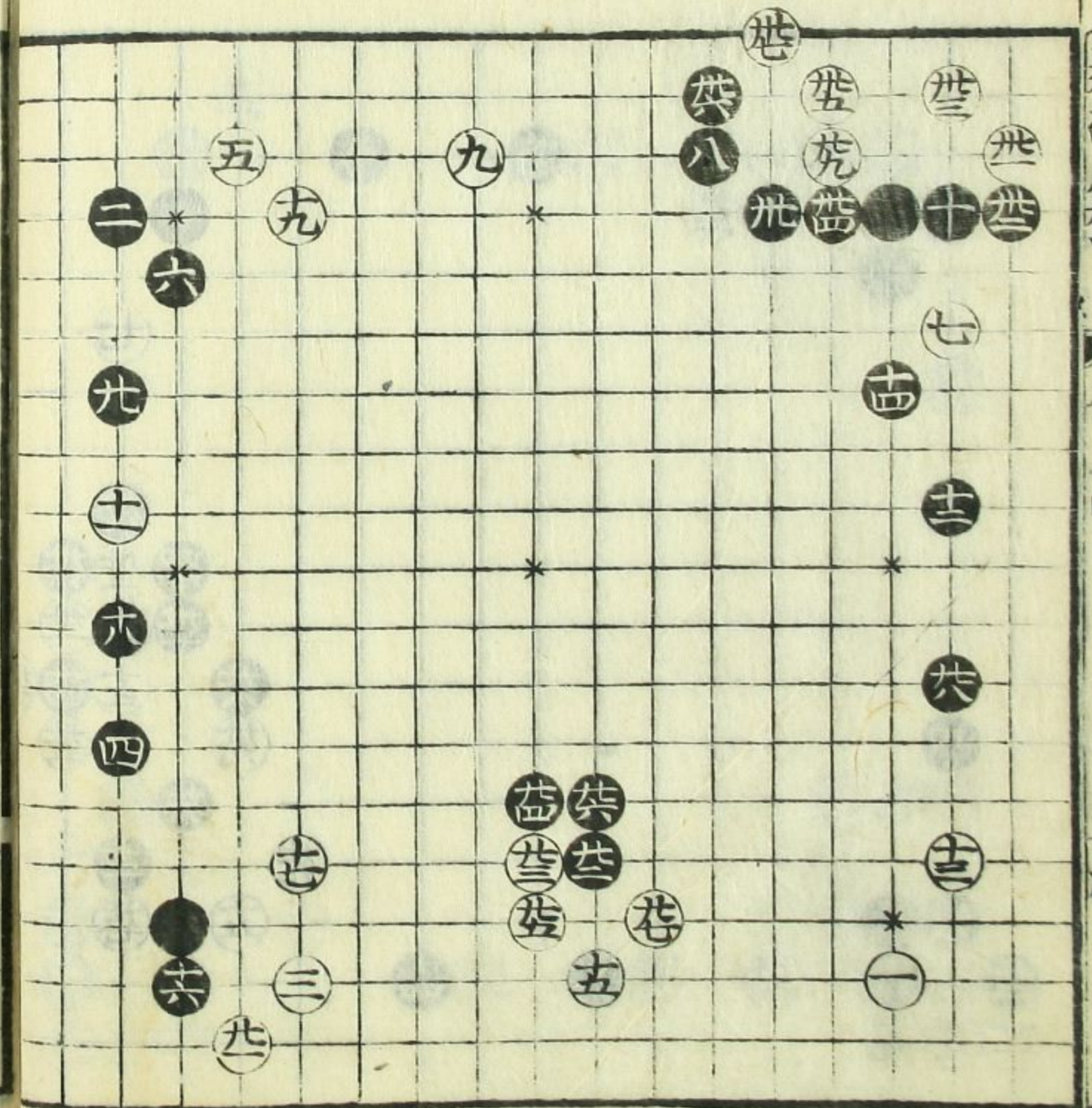


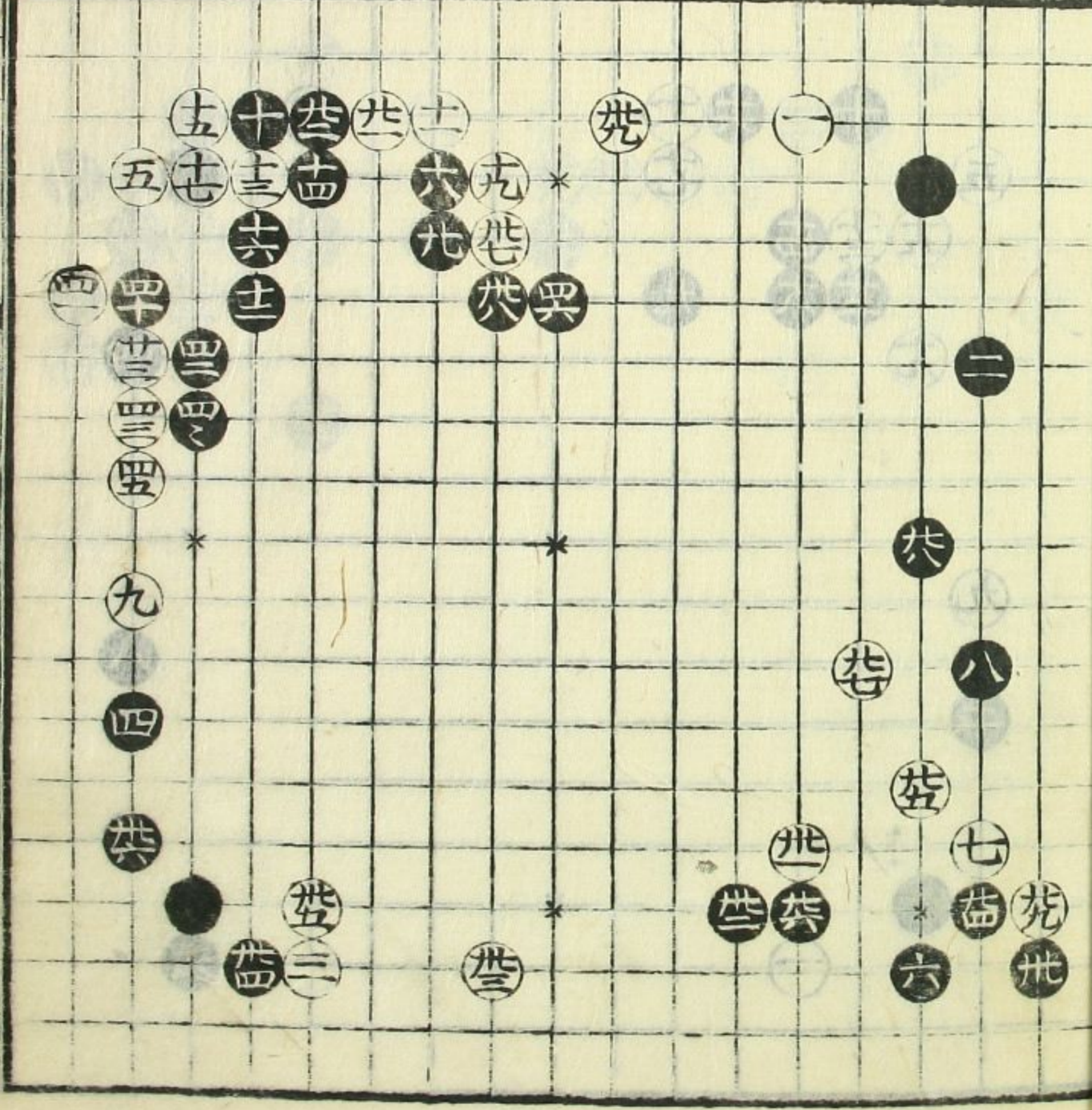
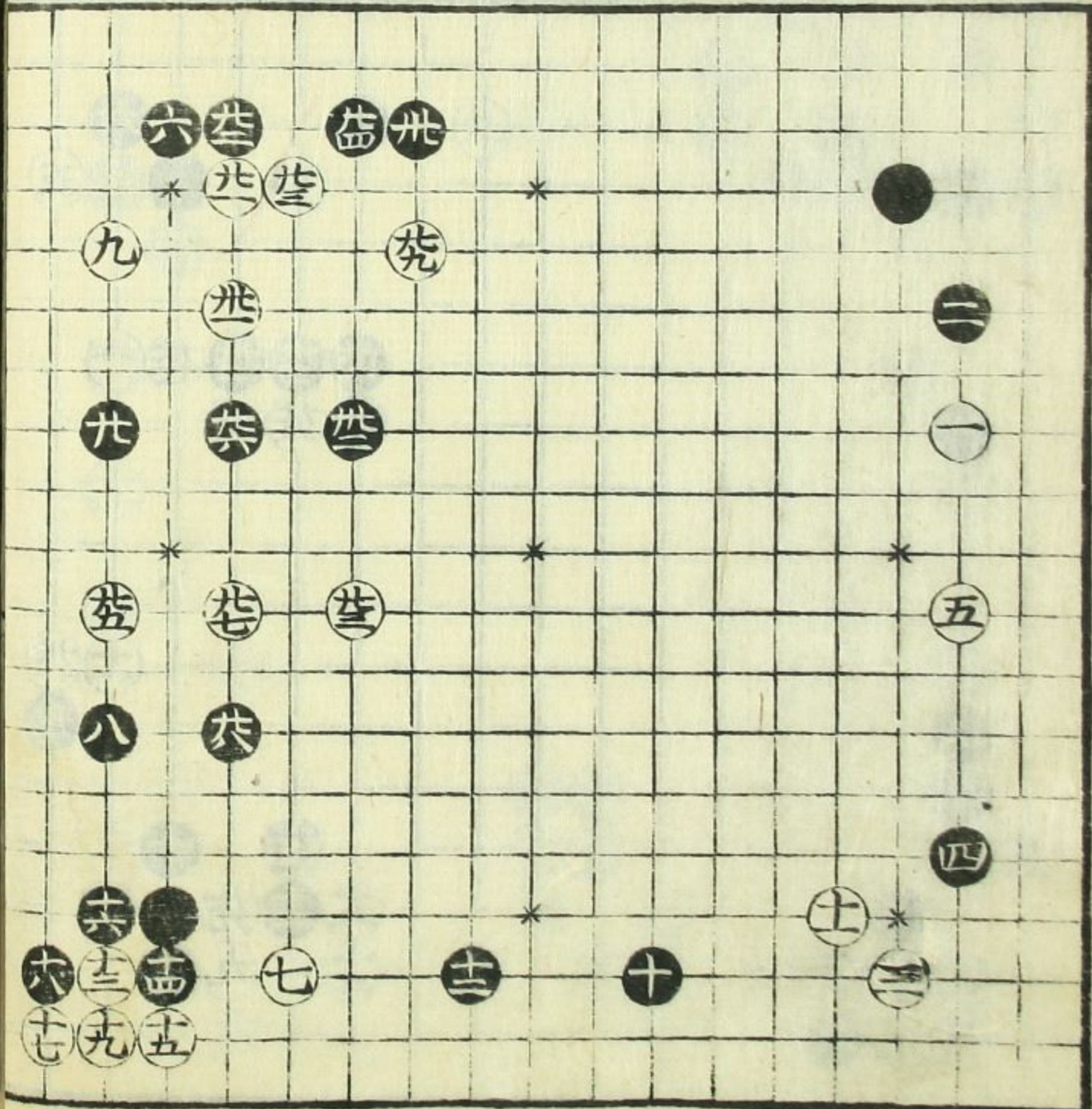
易經圖說 卷之四 五

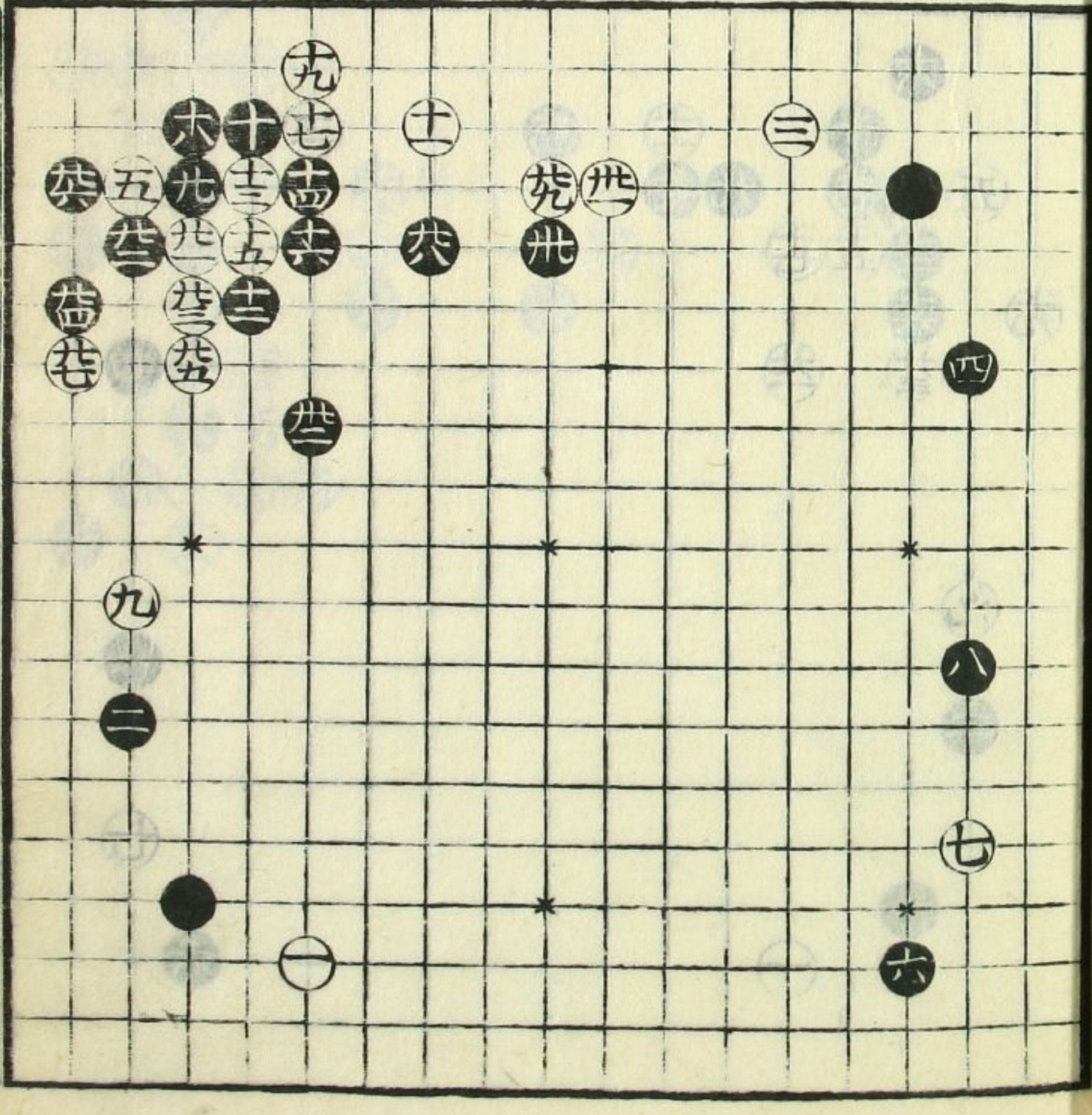
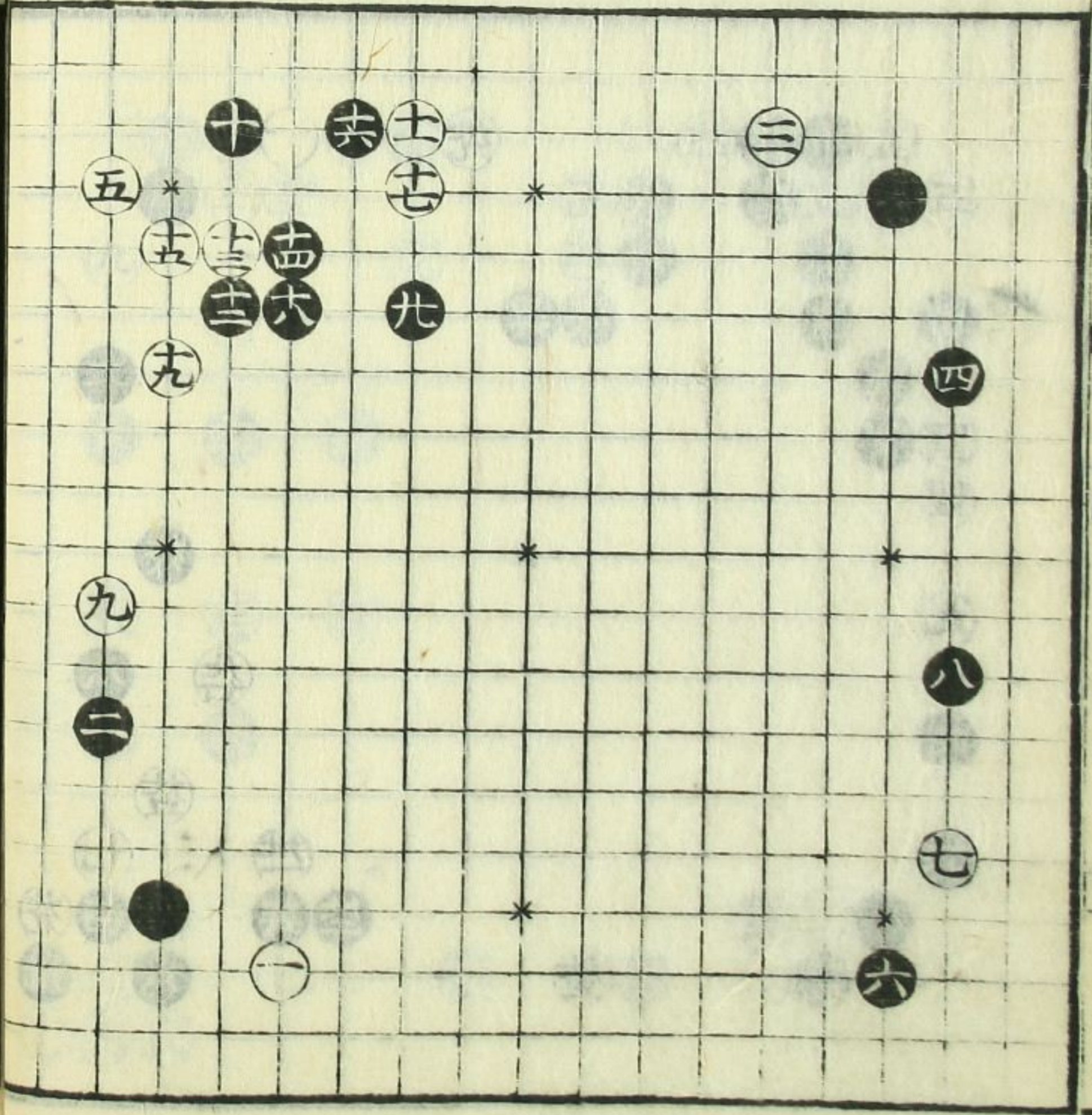


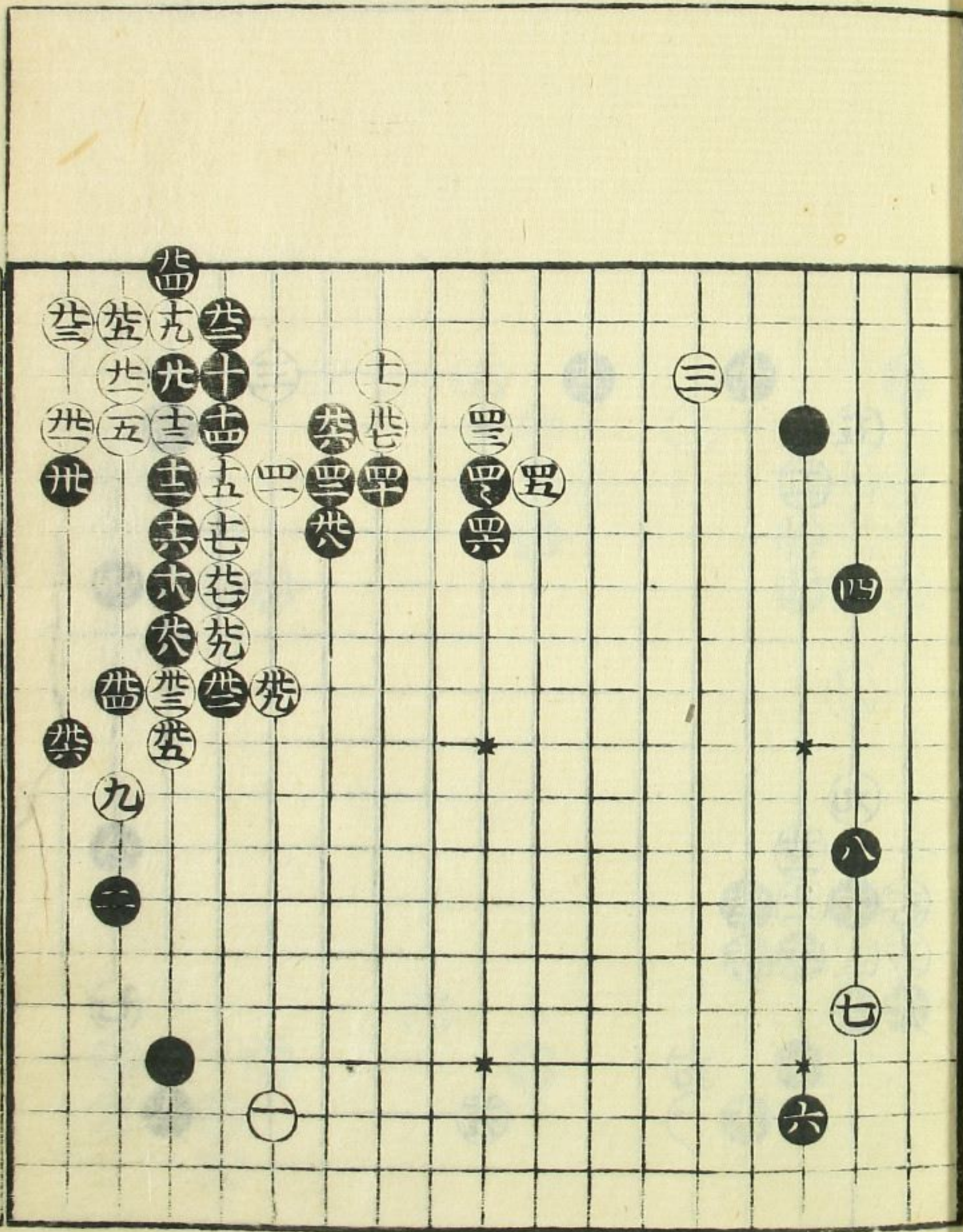
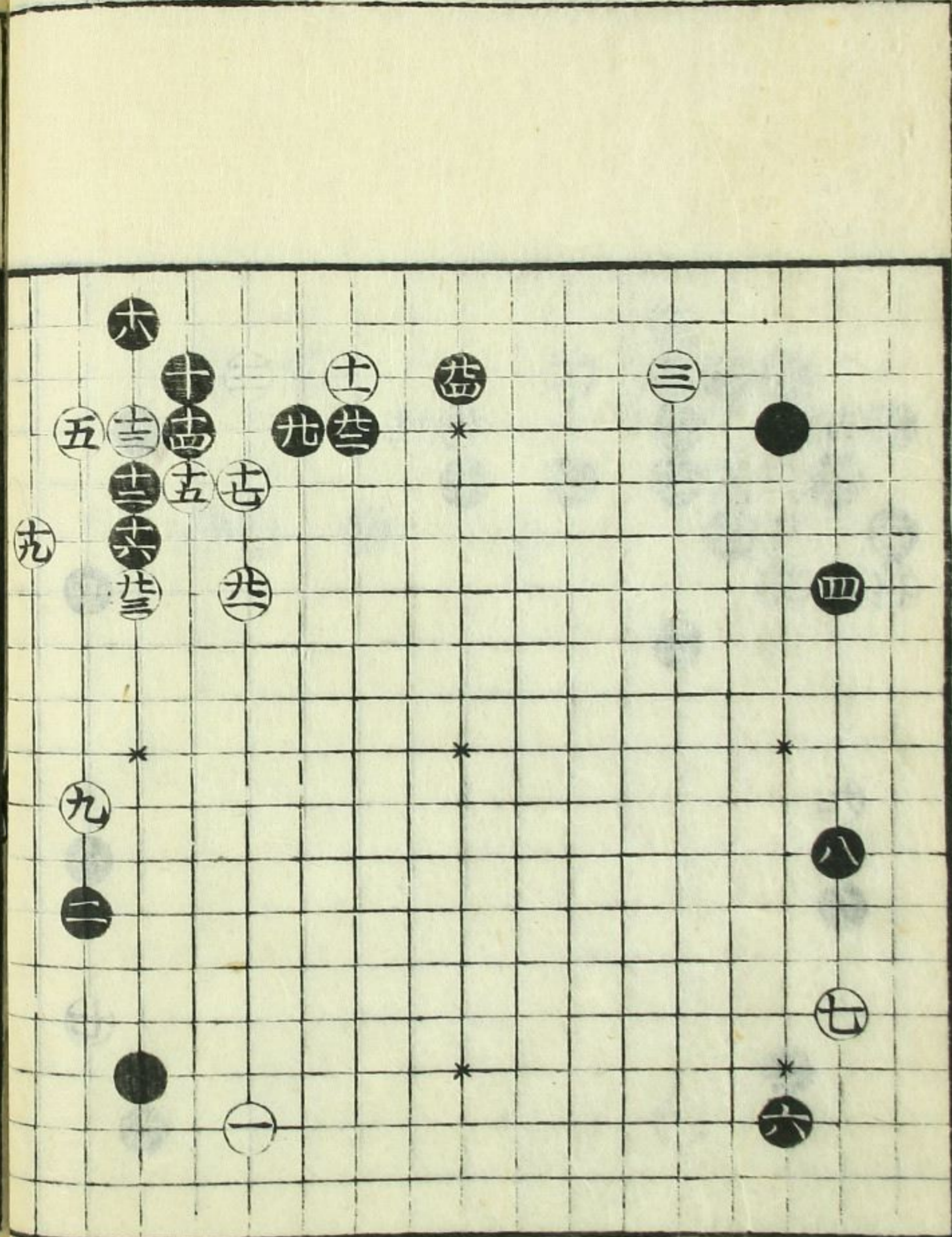


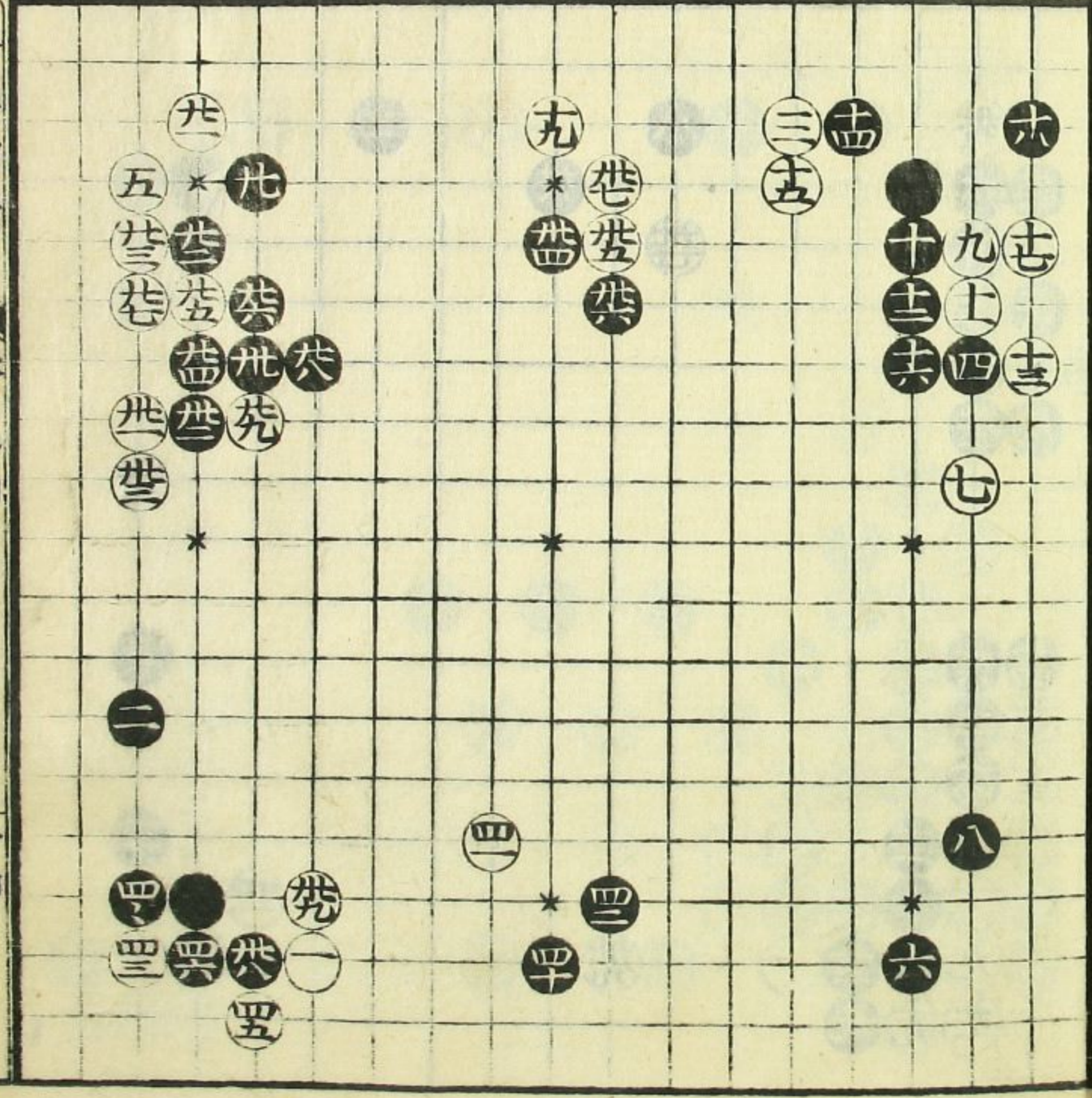
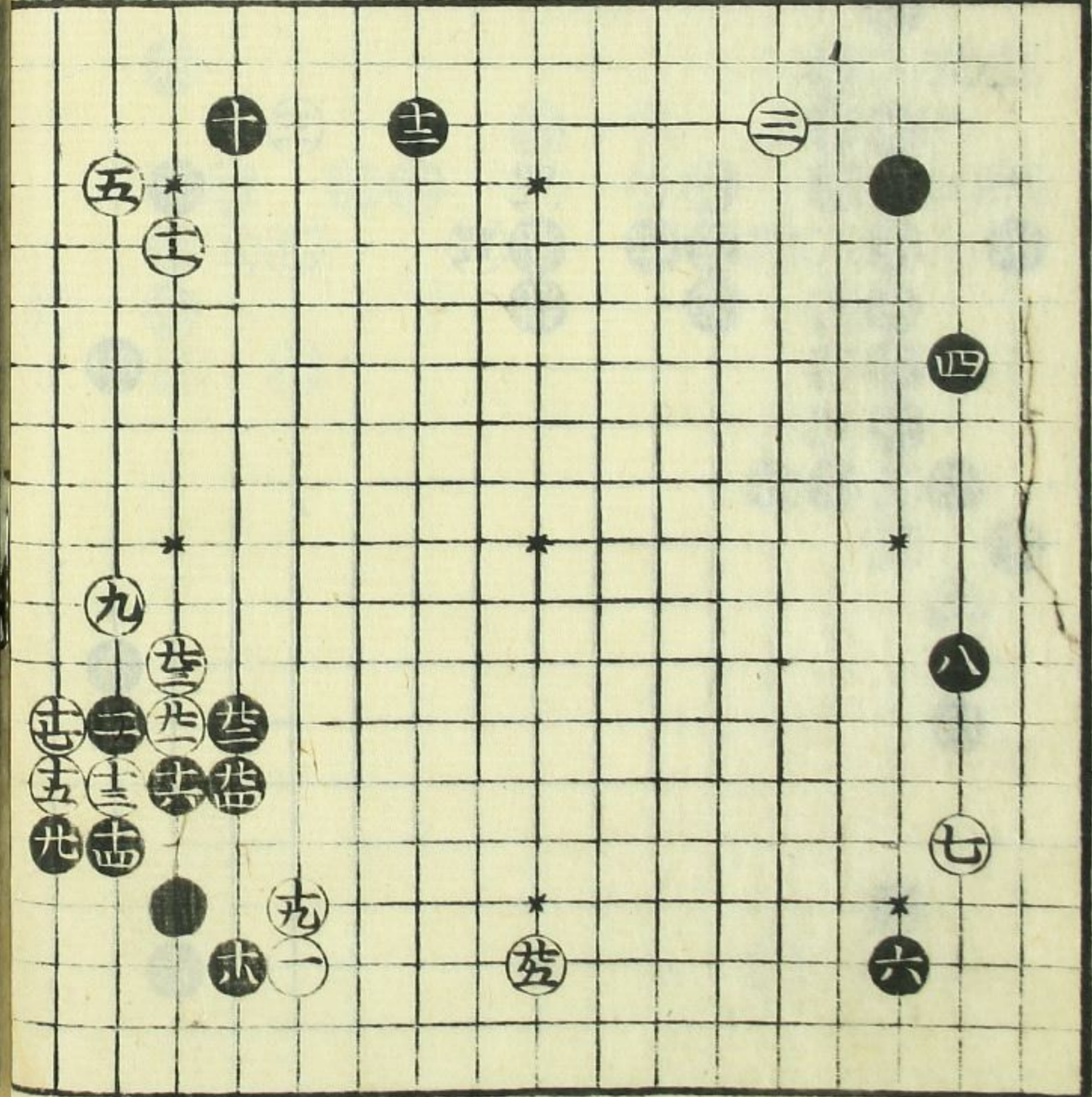


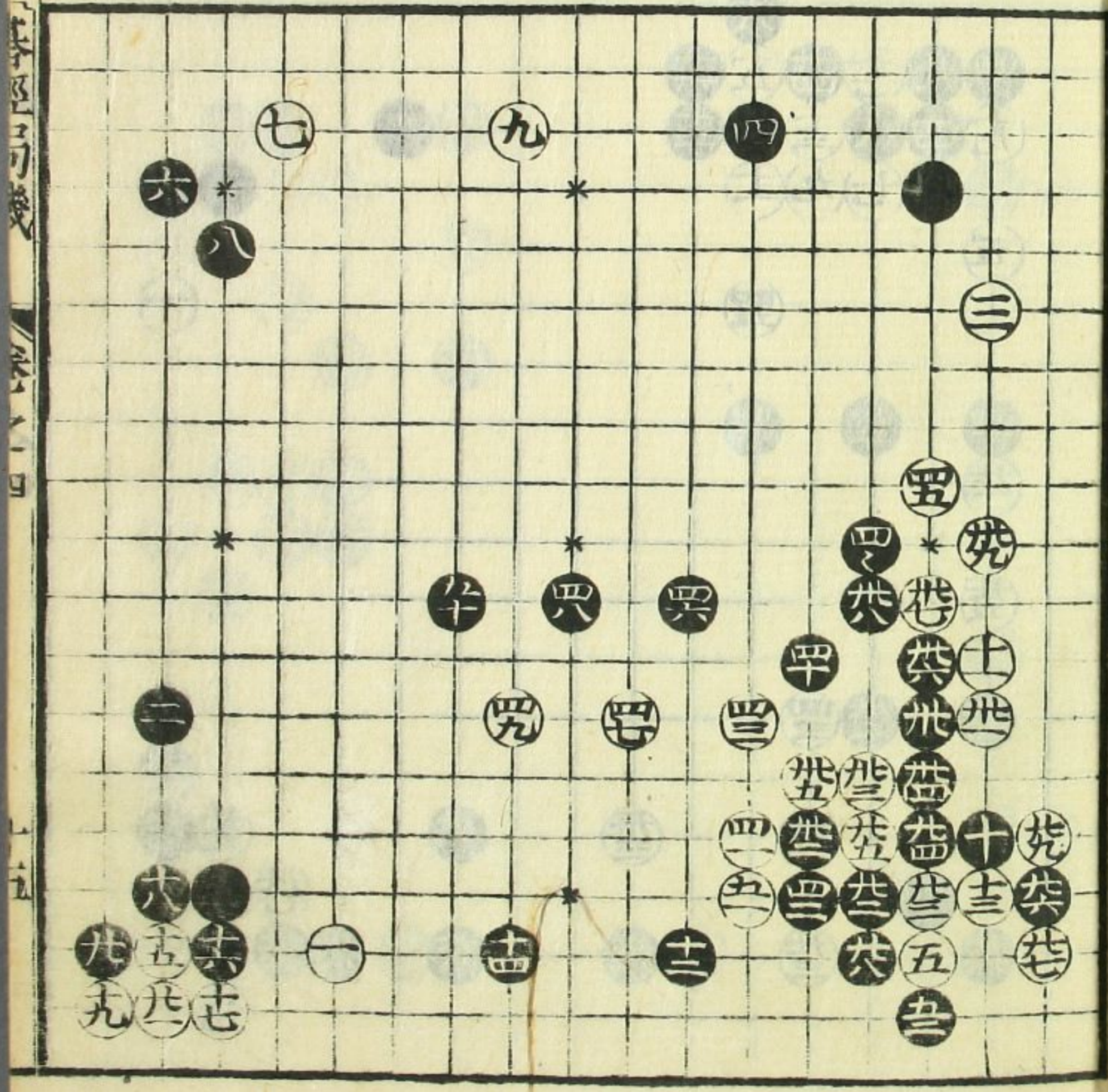
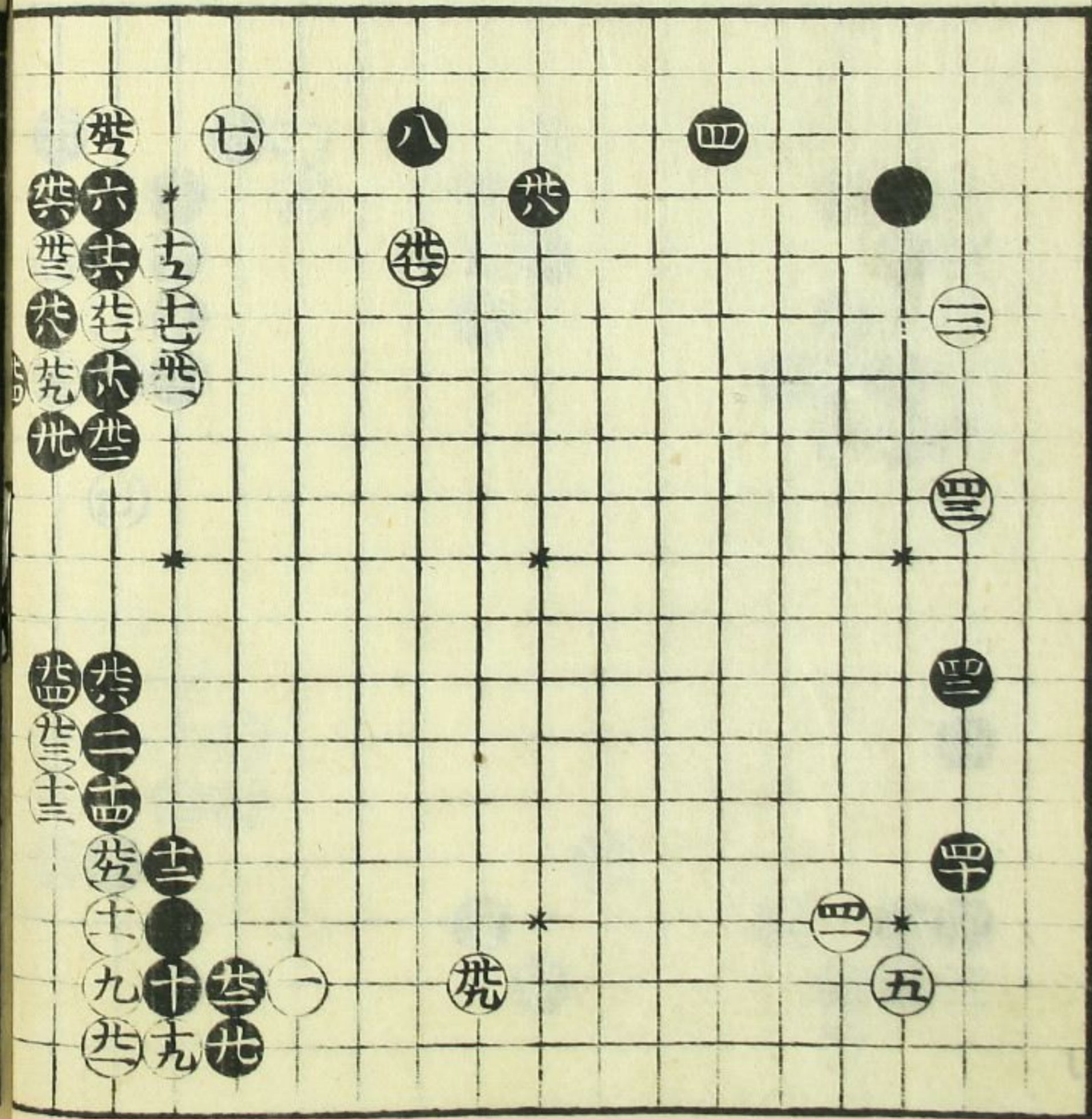


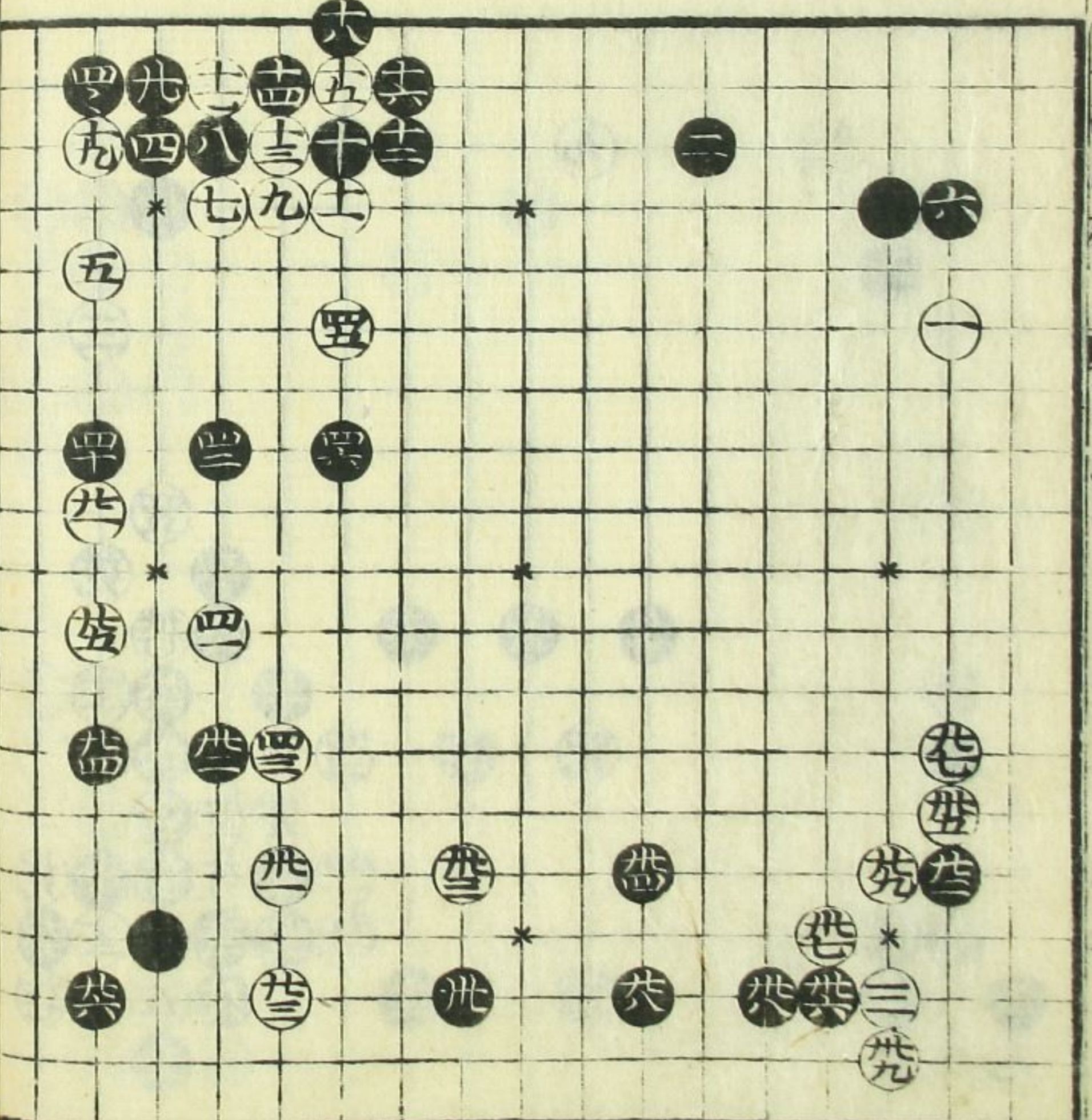
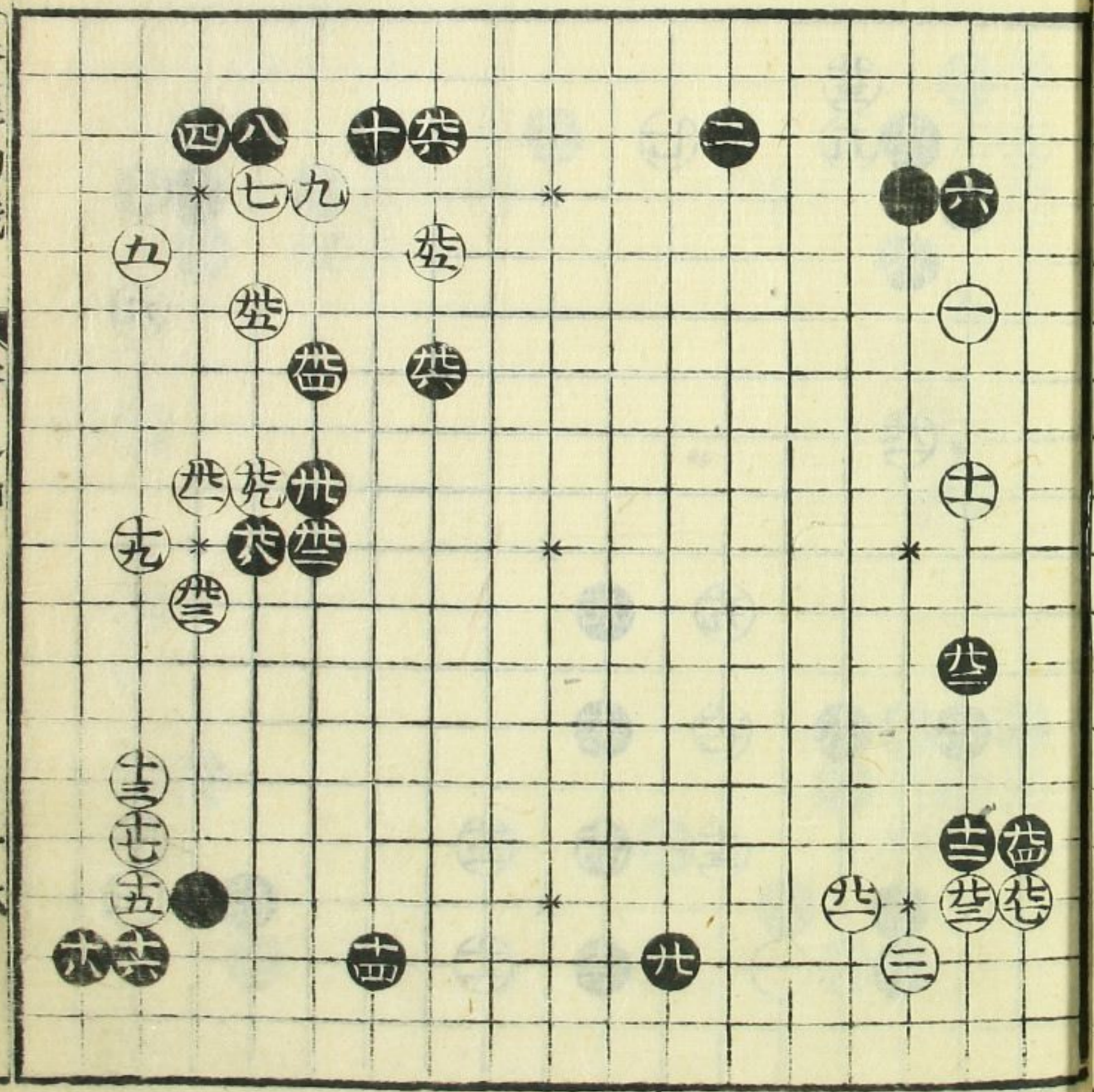


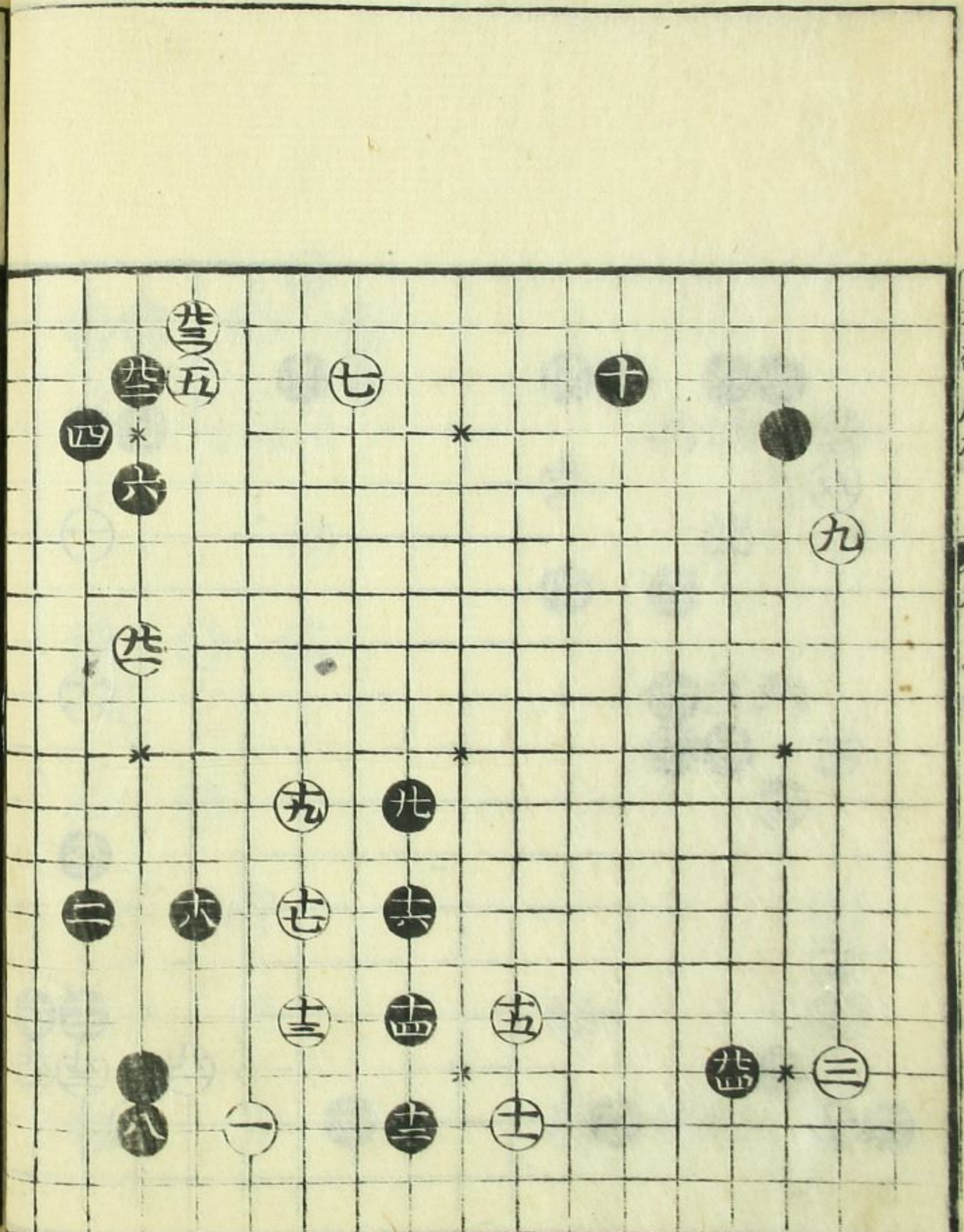
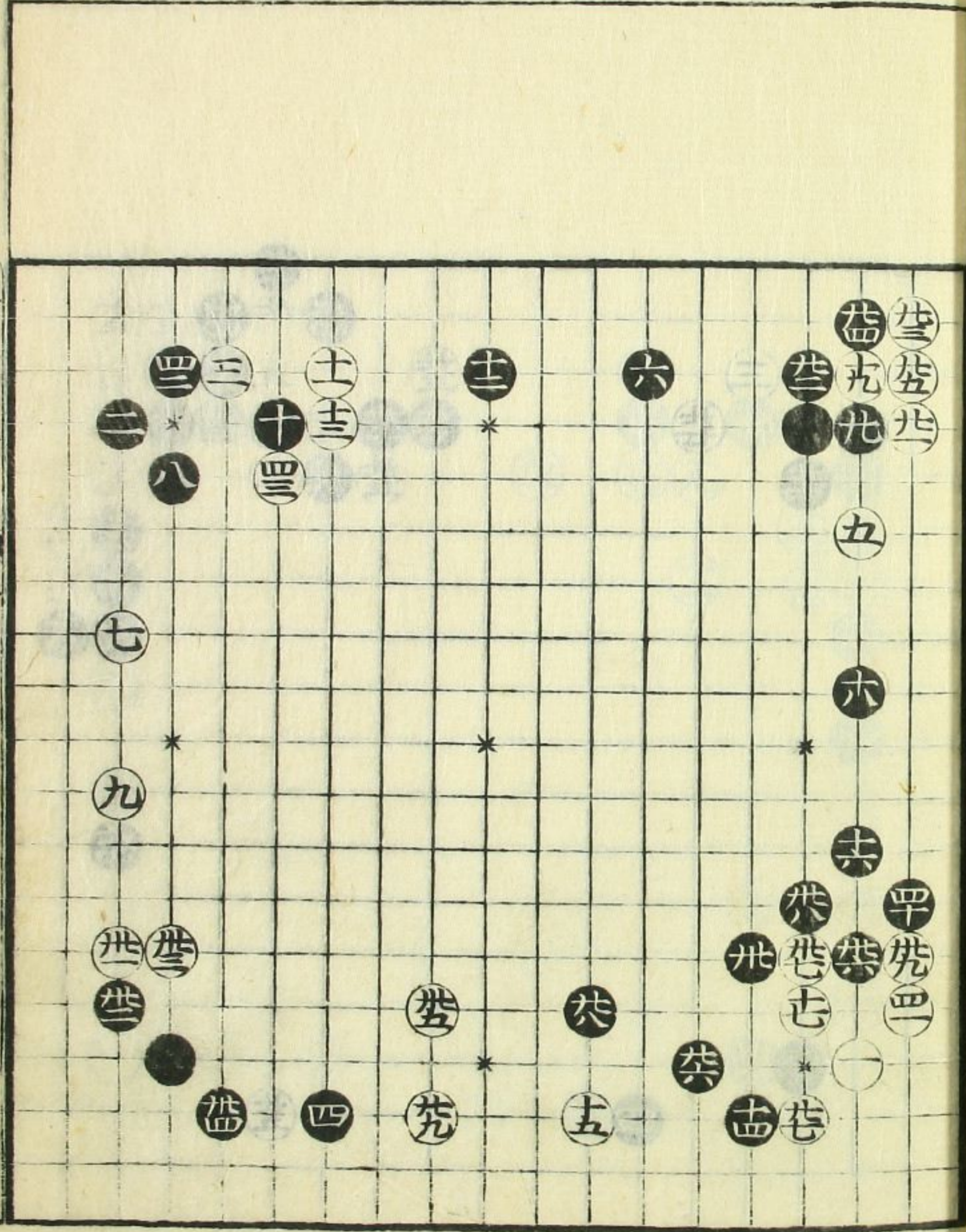




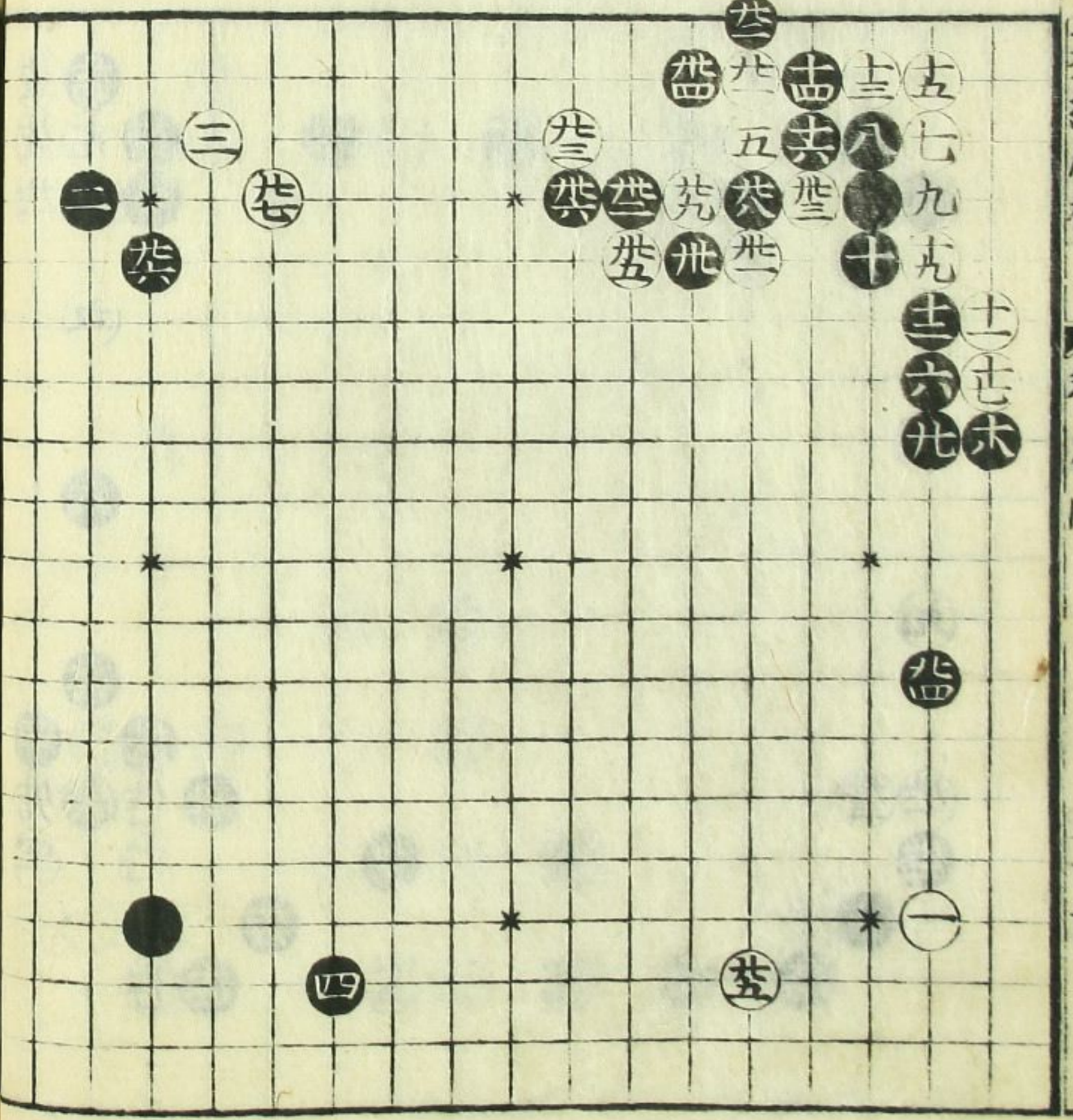
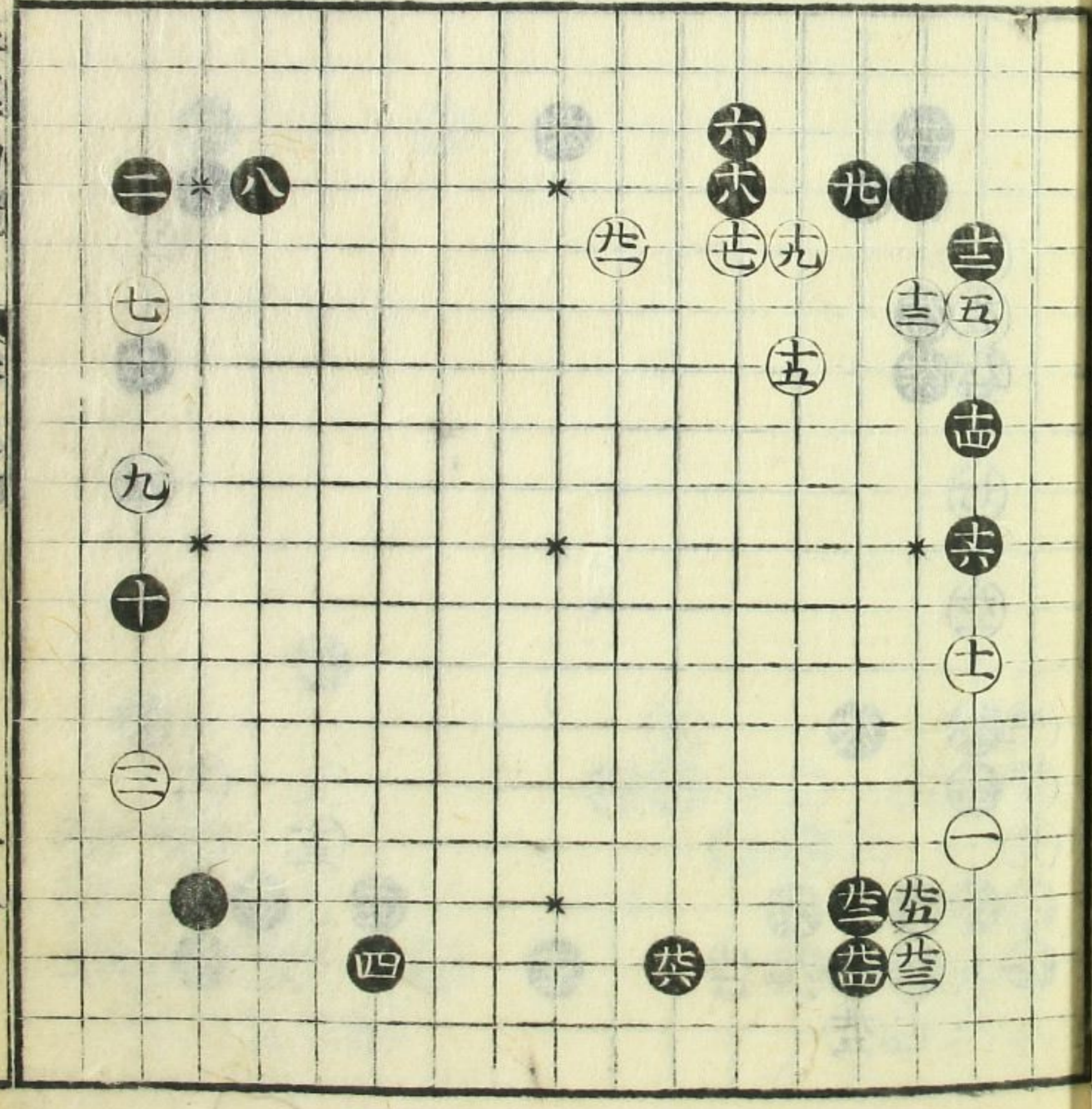




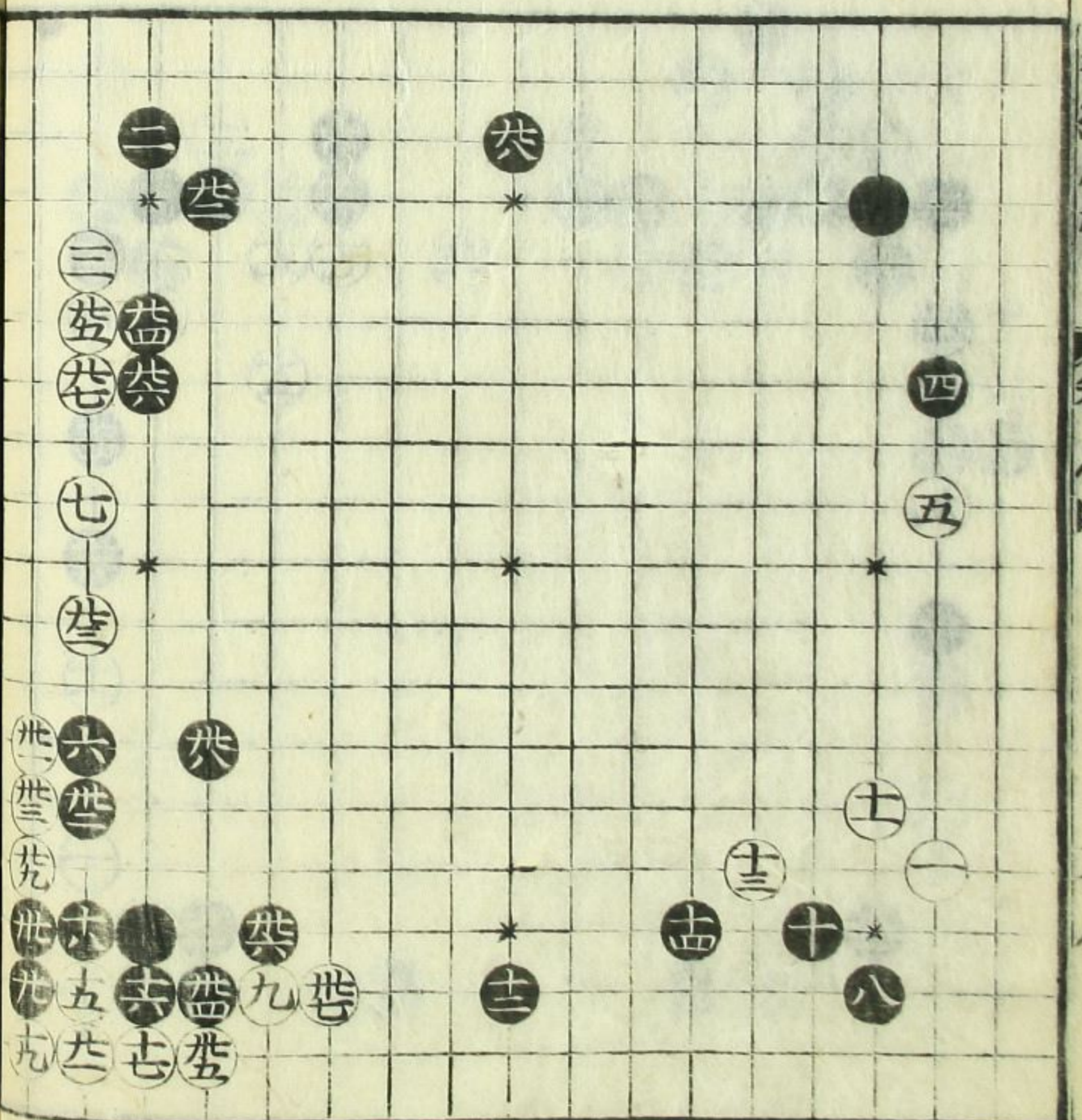
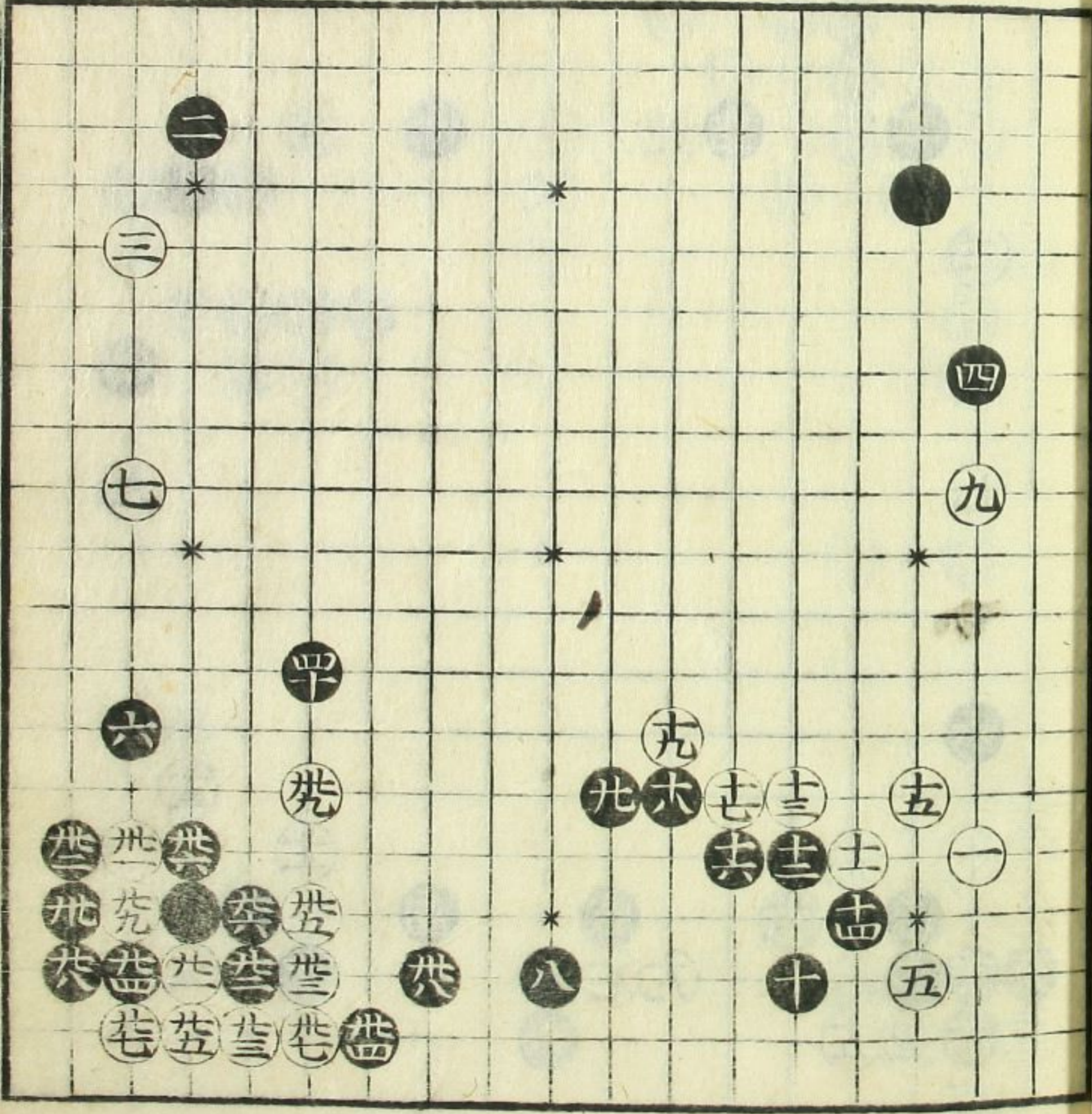


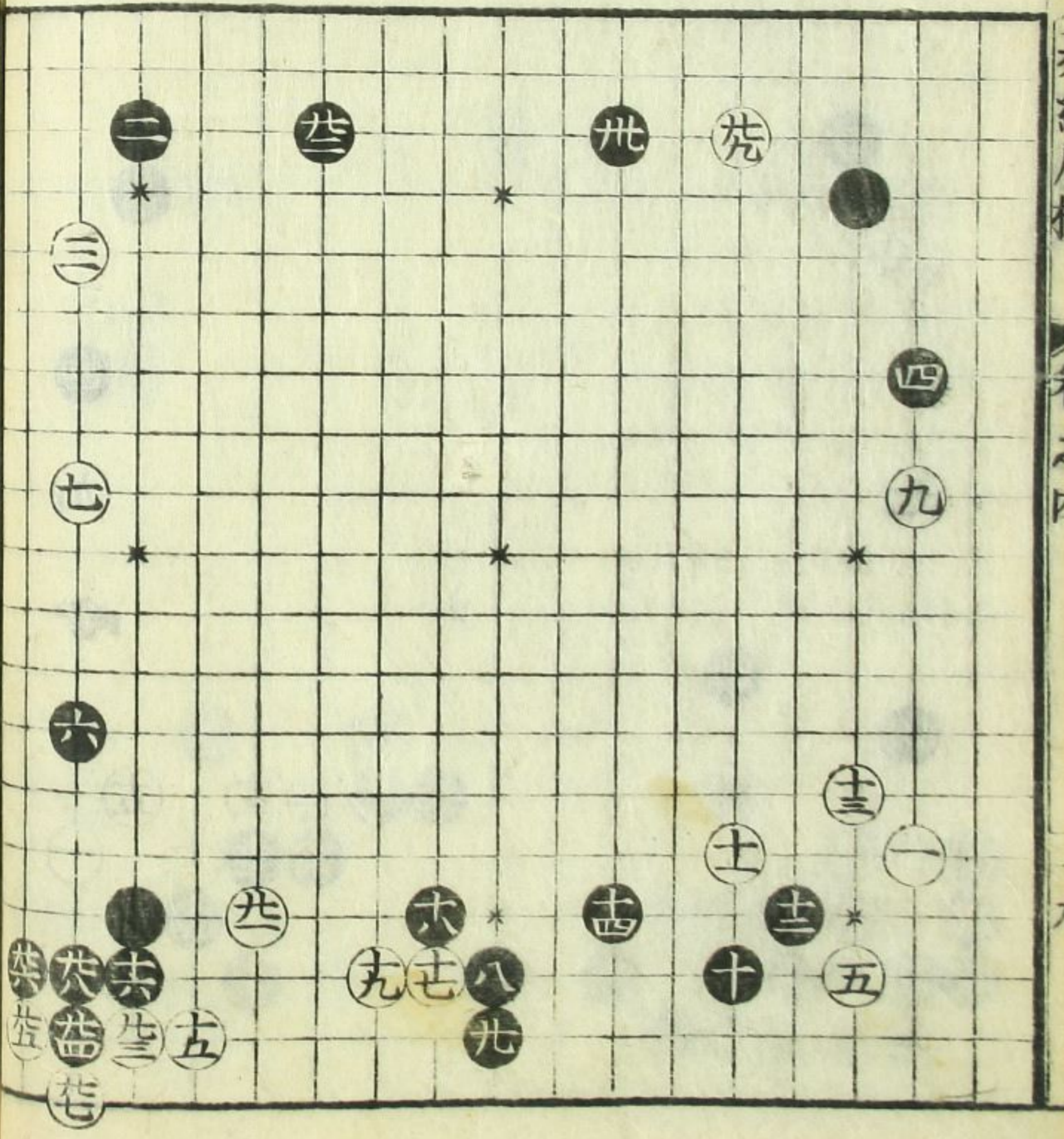
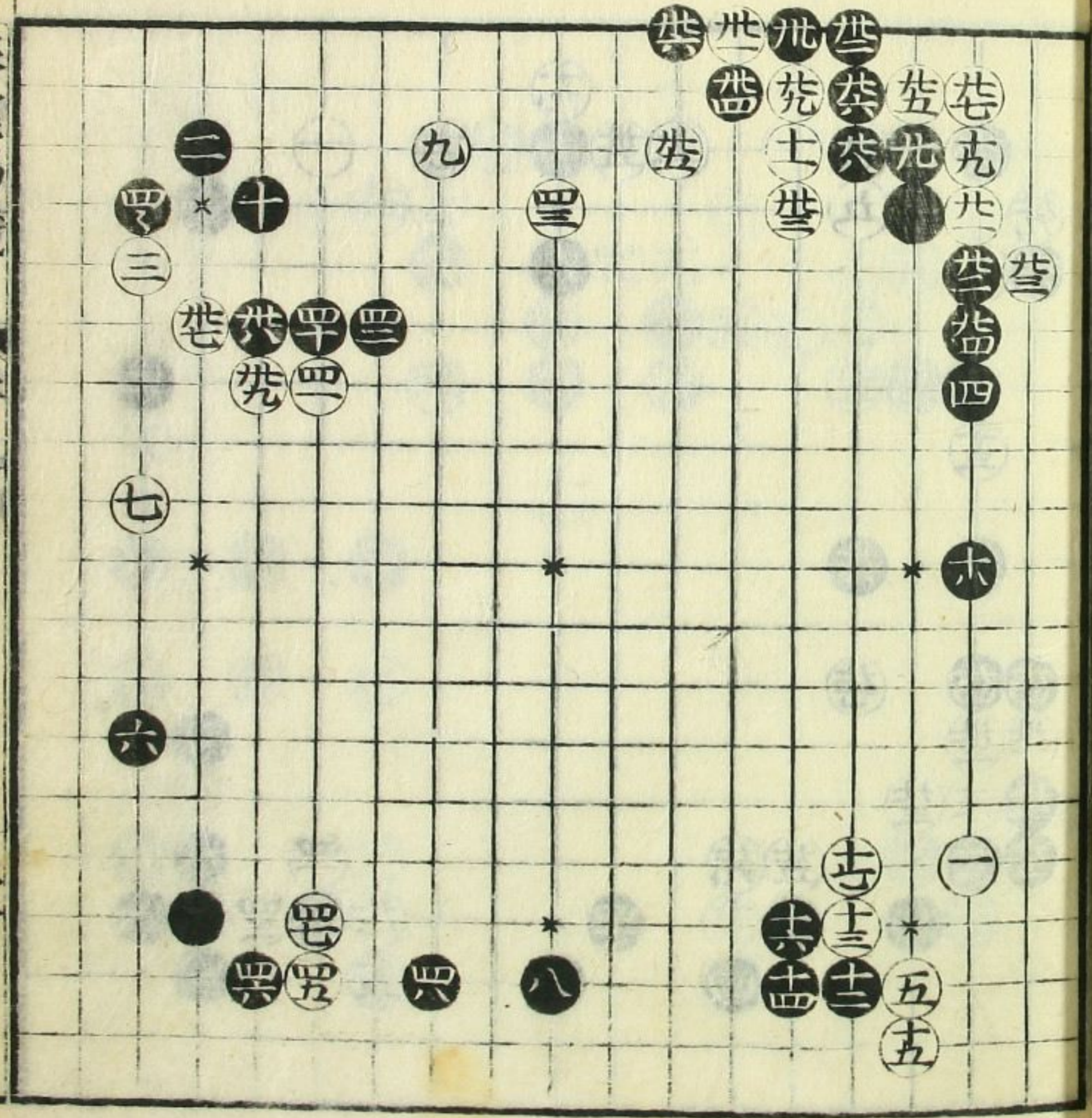


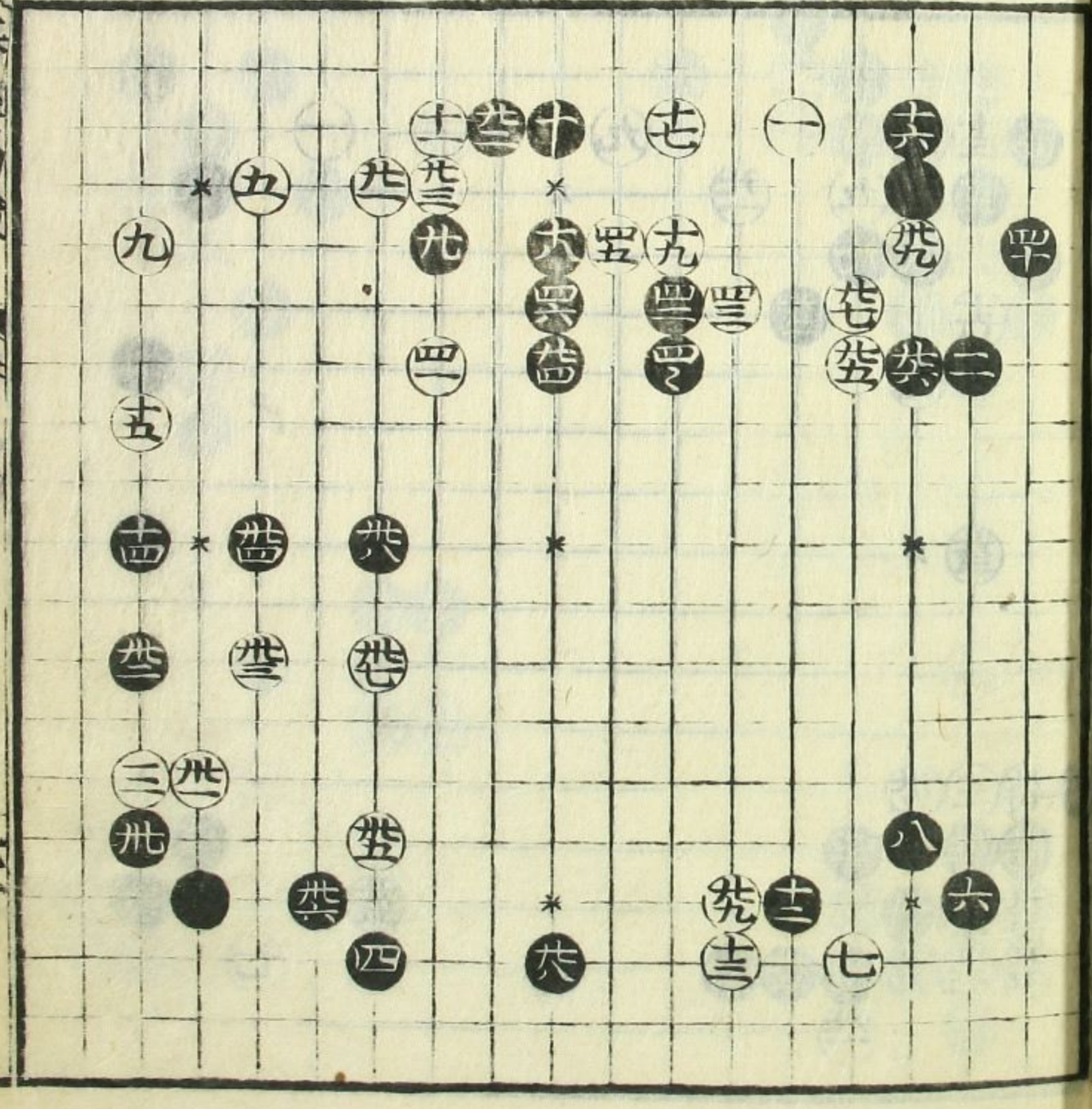
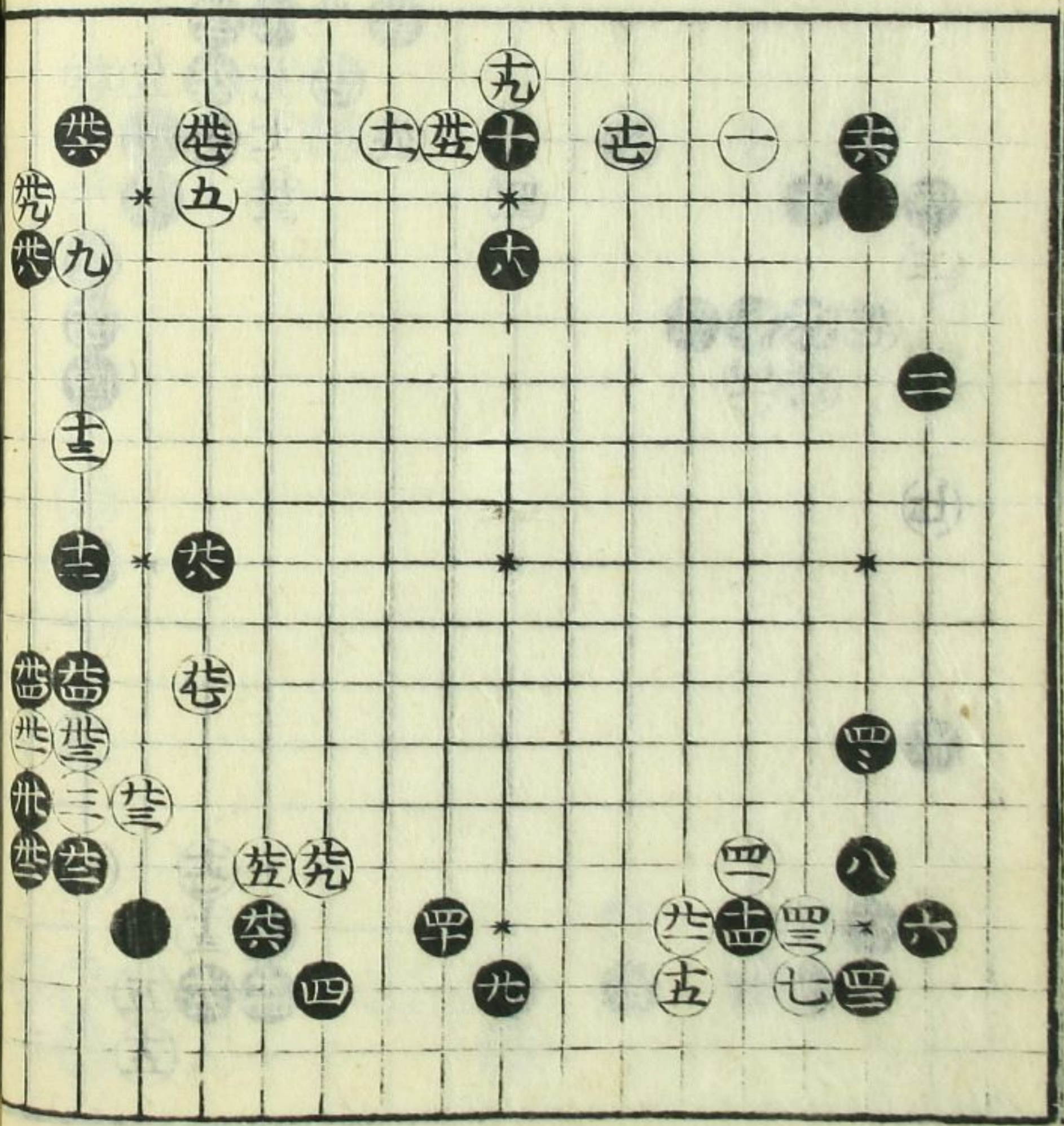
易经卦例



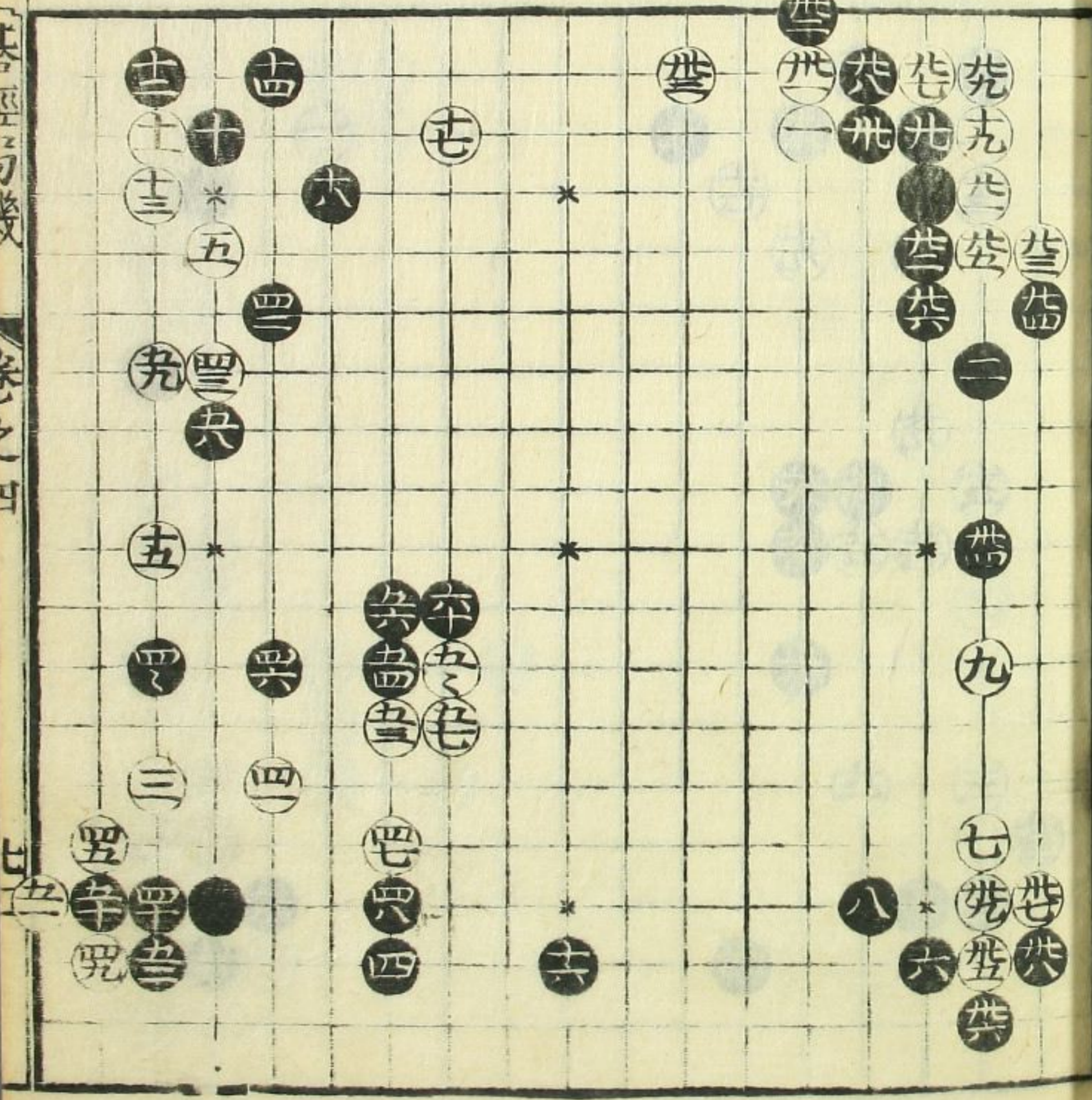
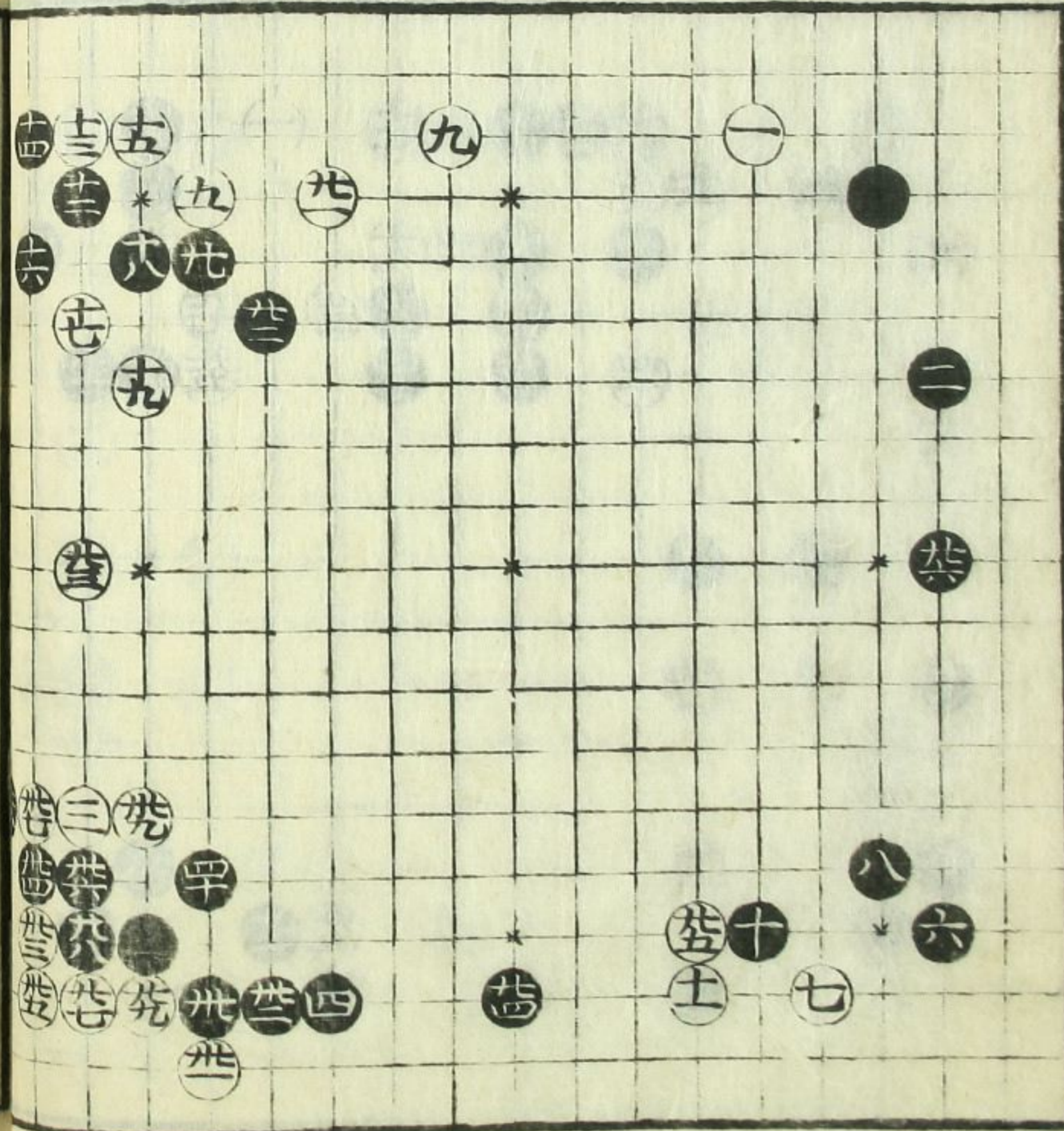
易经卦例

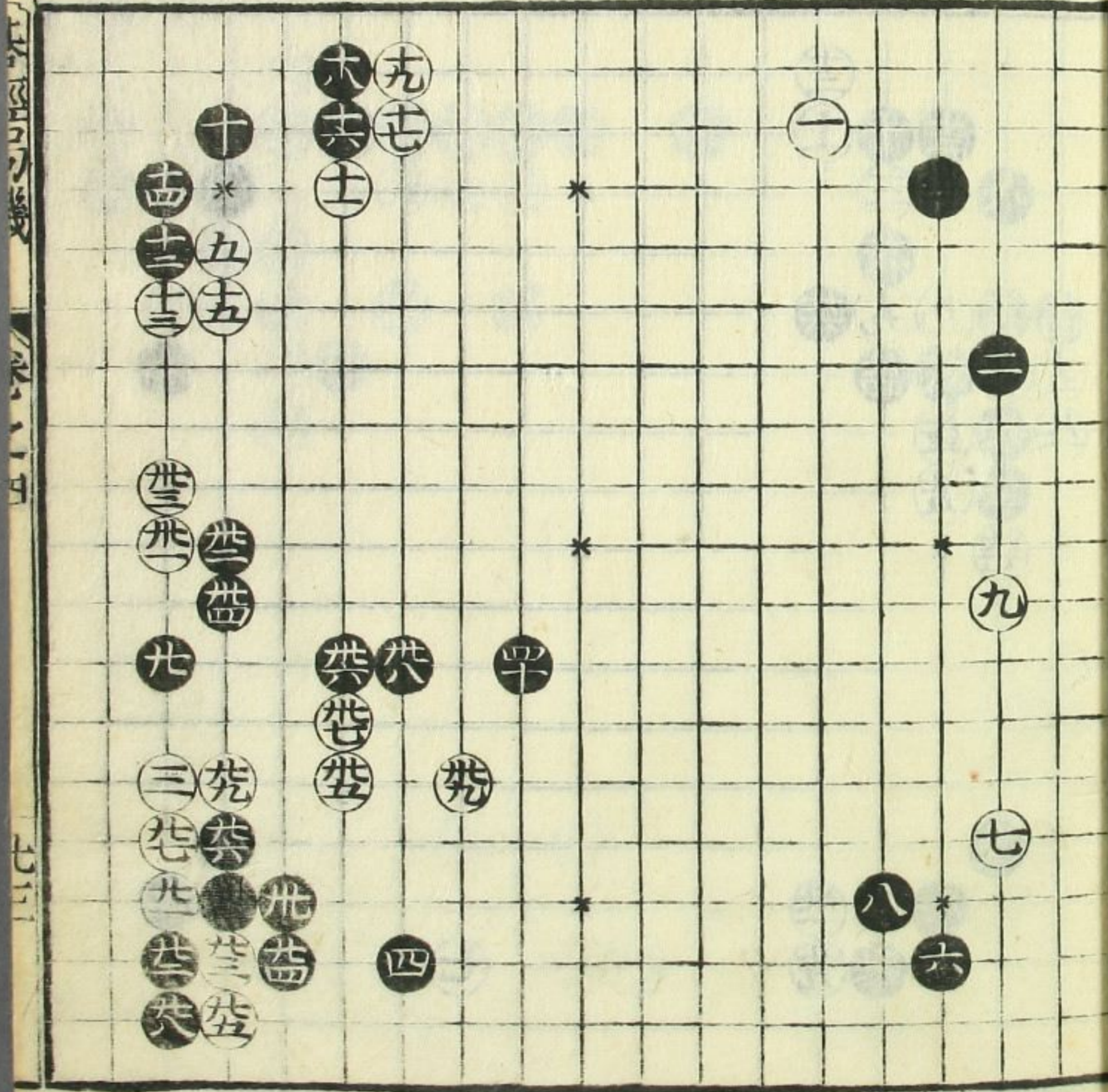
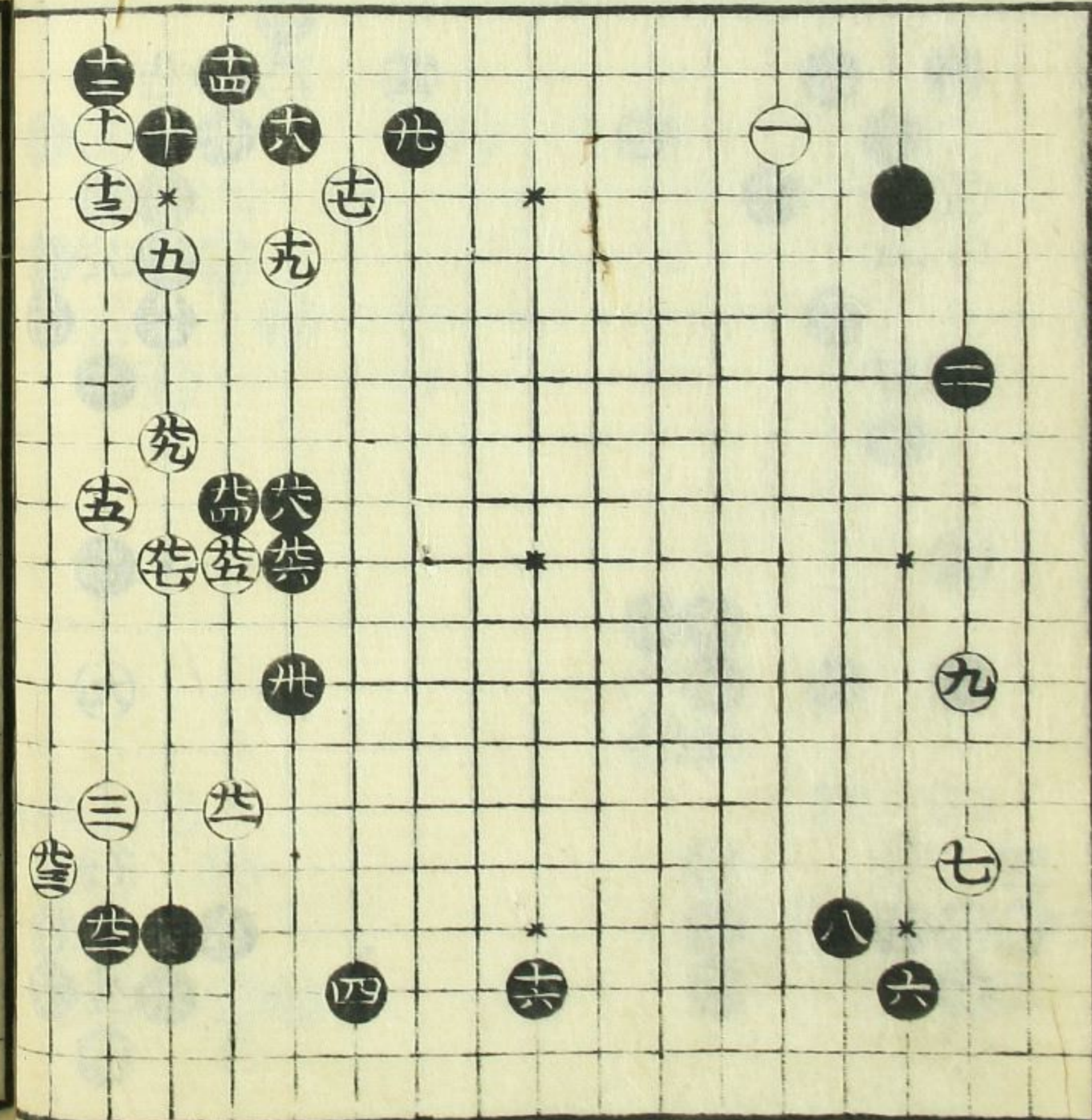






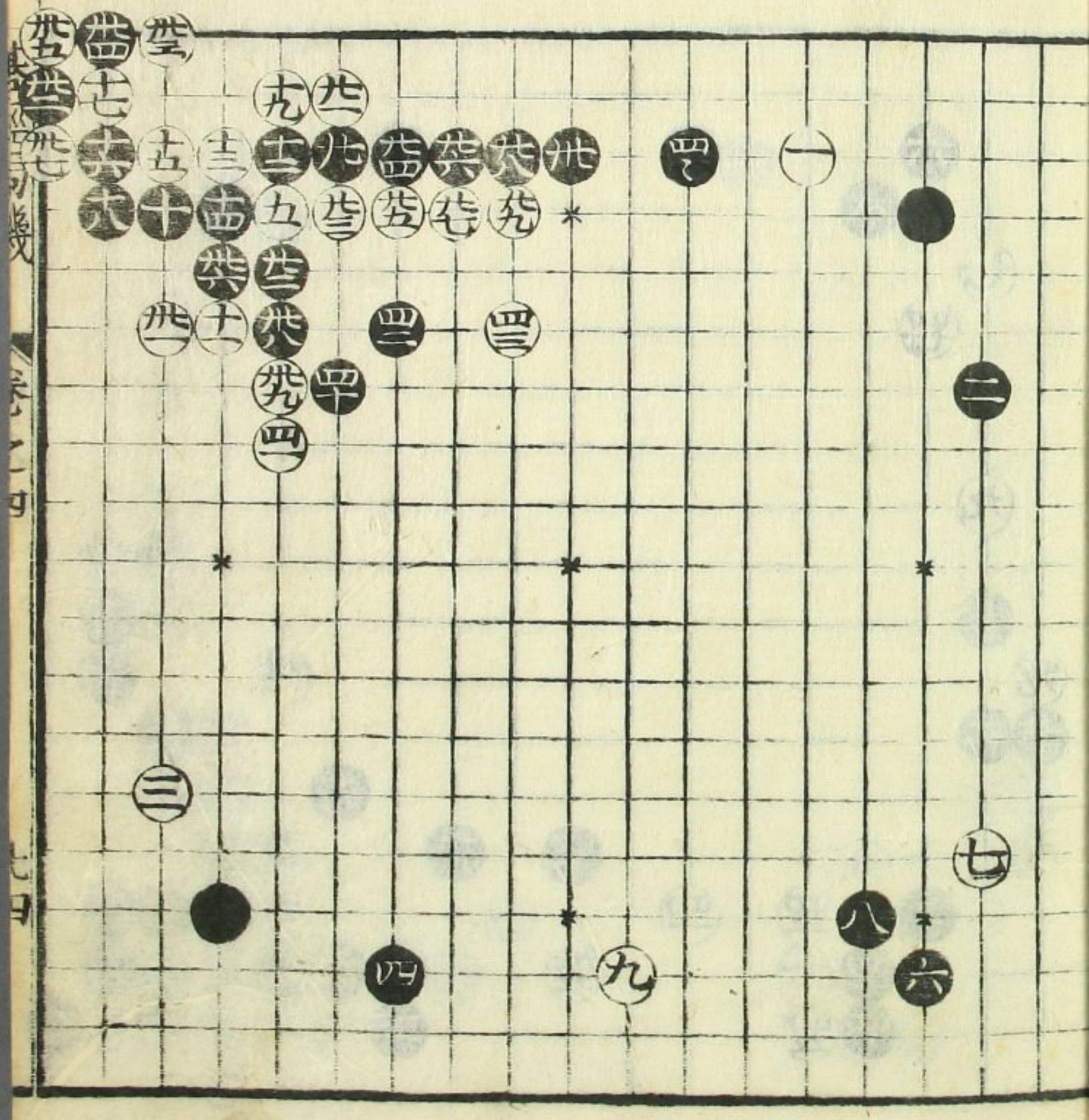
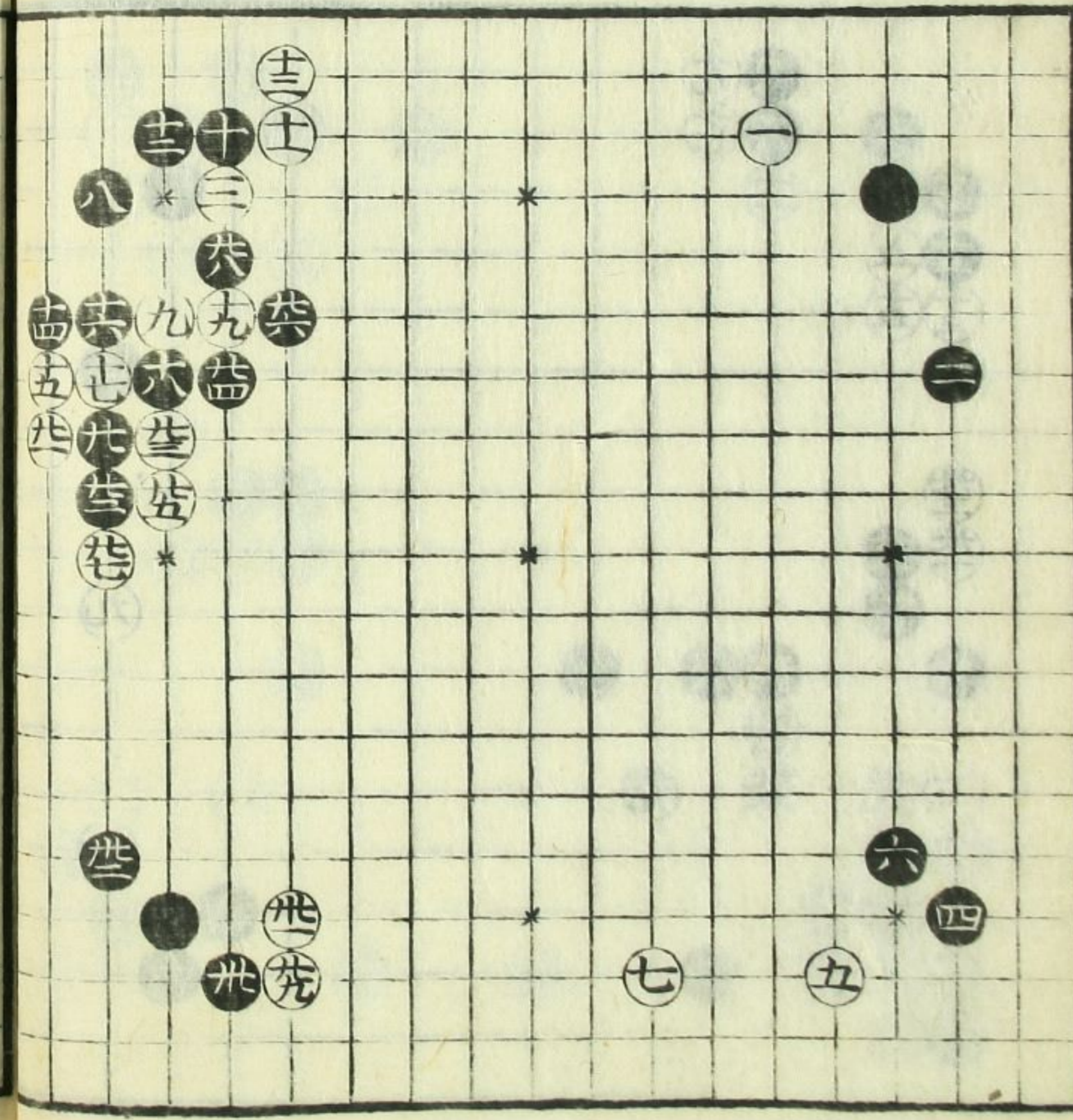
精經肩機 卷之四 十一



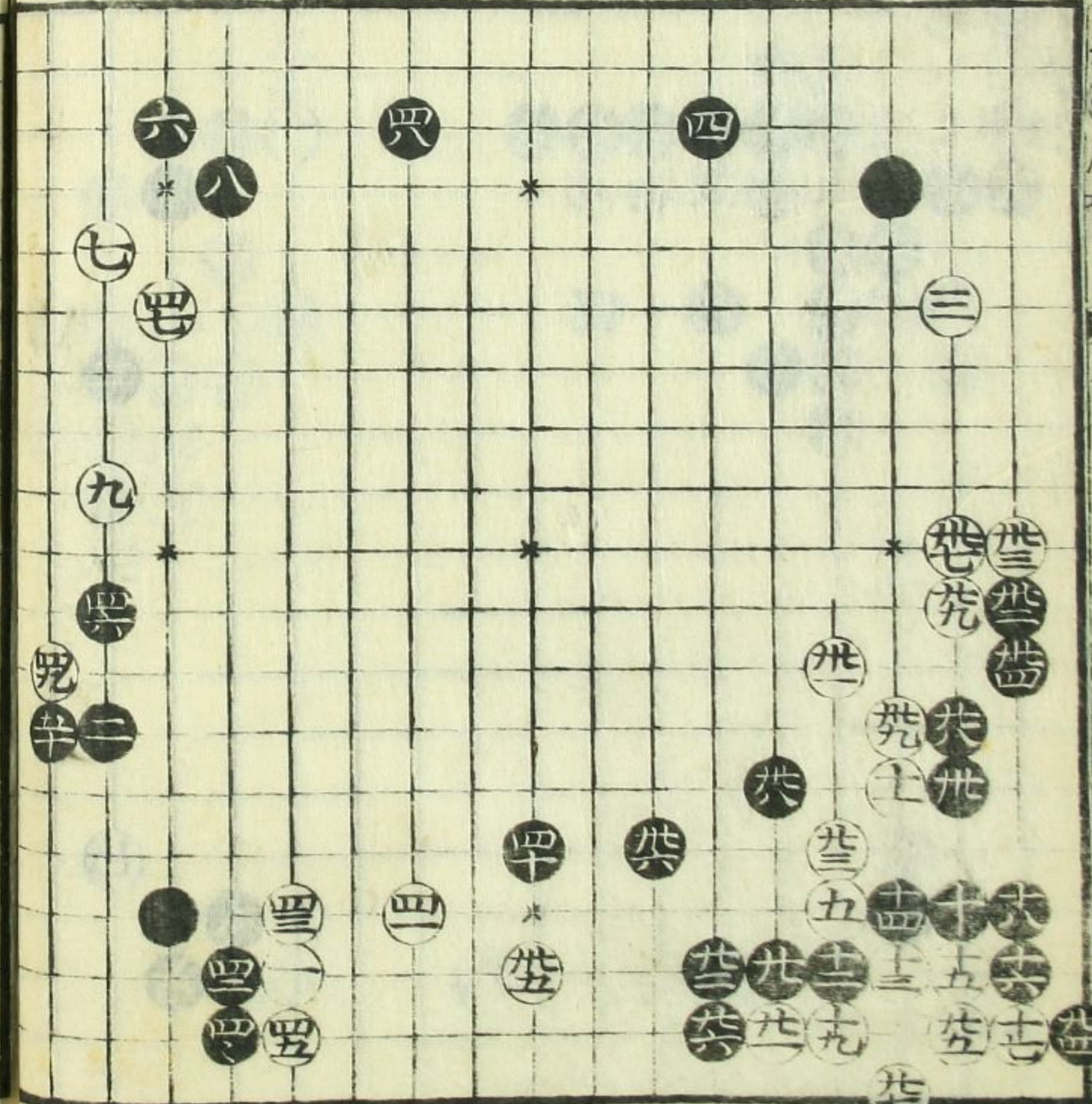
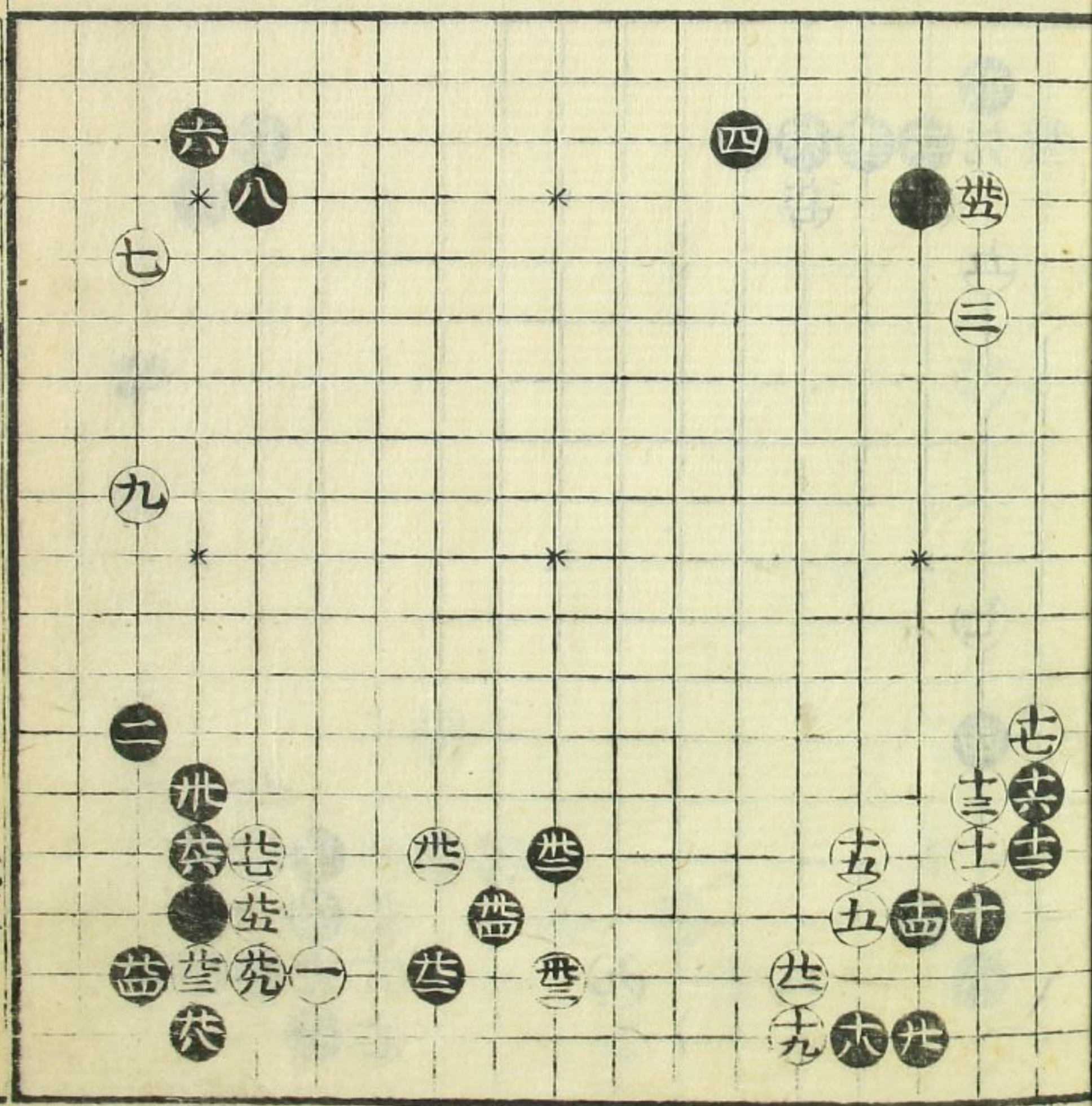


算經

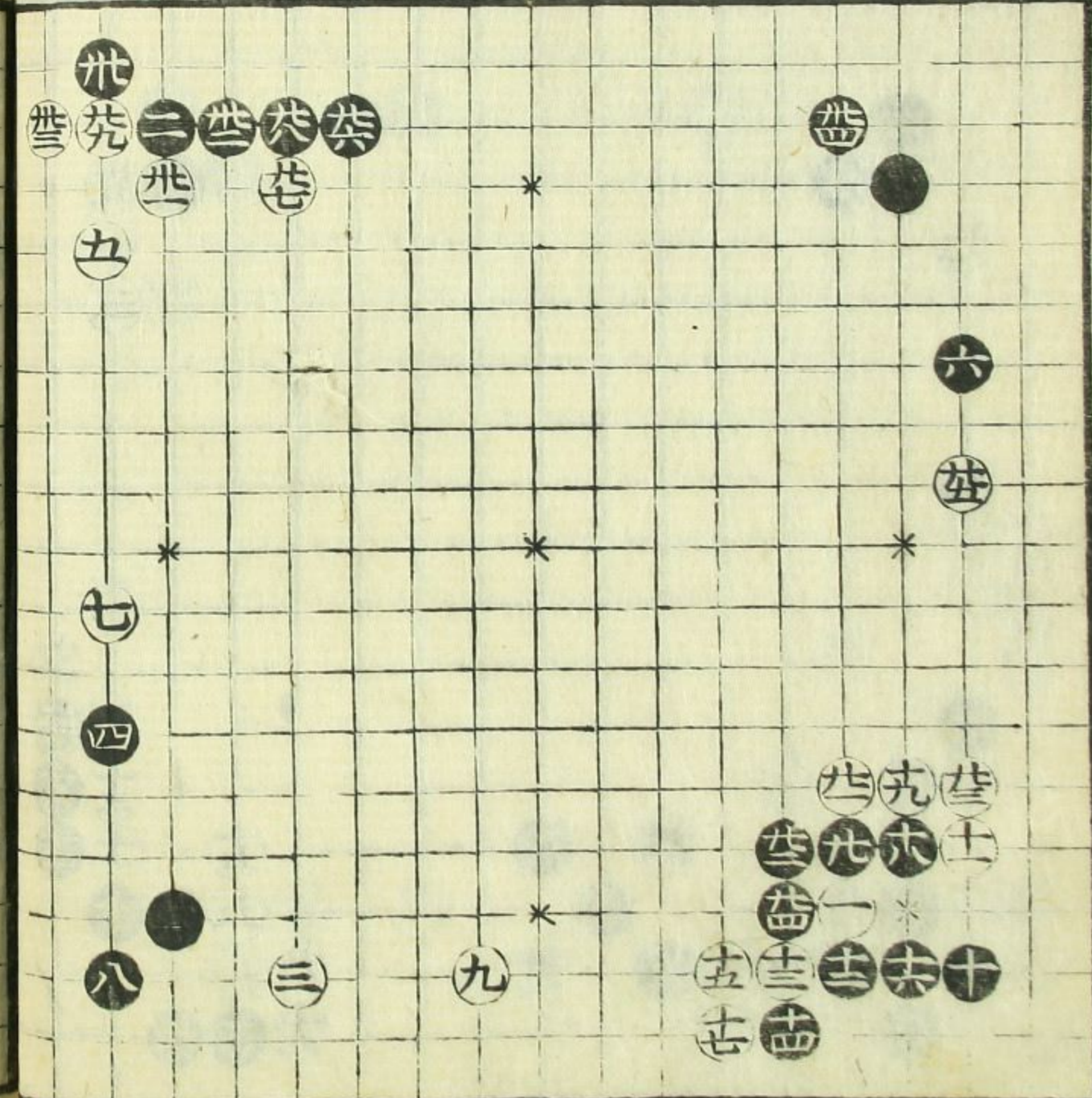
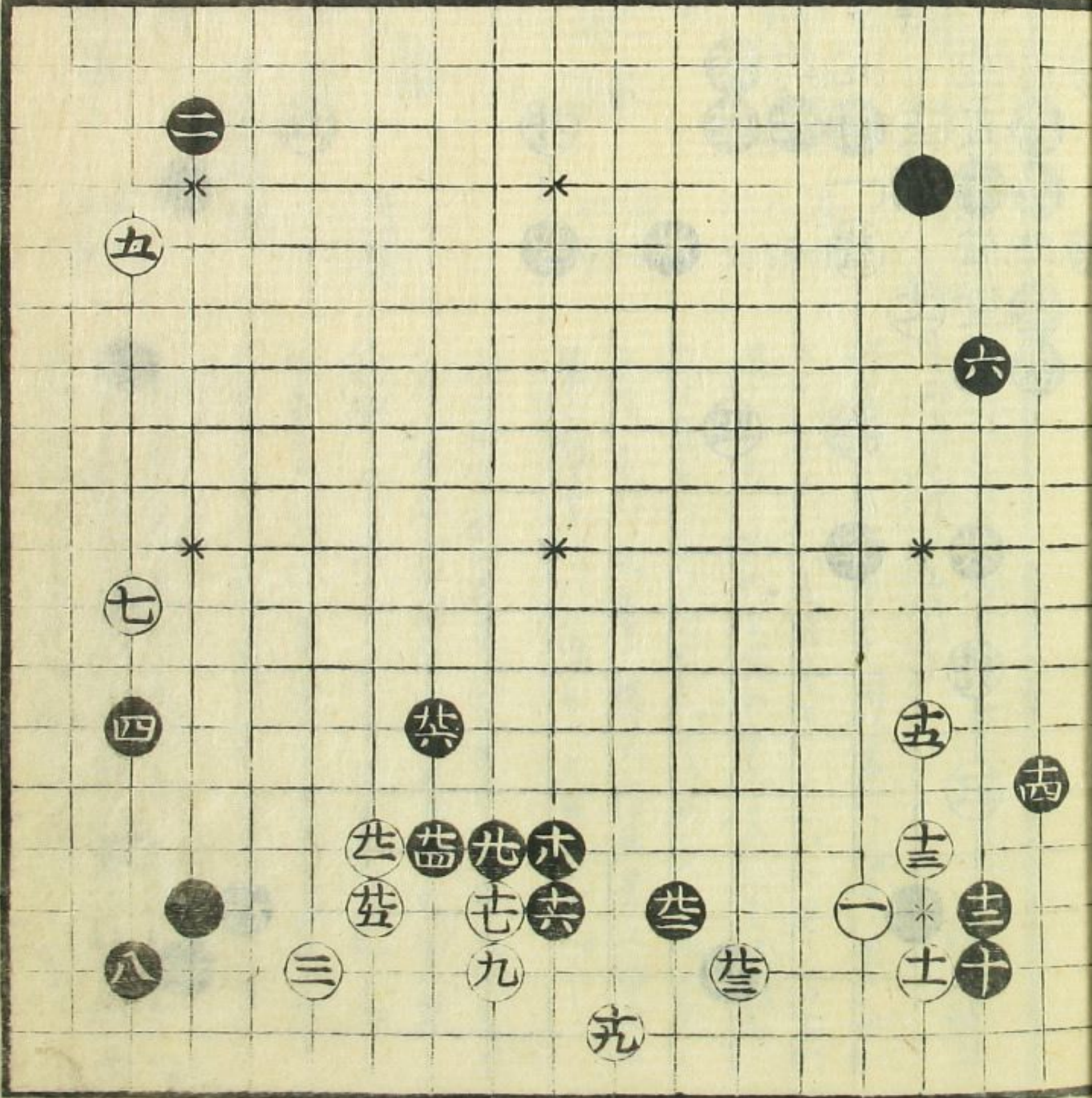
易经后集
卷之四
九三



易经后集
卷之四
九三



易經圖說 卷之四



碁傳記目錄

在りし頃の本書も流出し一冊あり
 抄りしめ由緒可なり以上

板元謹白

選奕亭京子先生著

碁立結節

前編 全部
 後編 八冊

爛柯堂元美先生著

古今碁經連珠

全部
 四冊

玄々齋主人纂

圍碁定石集

共冊

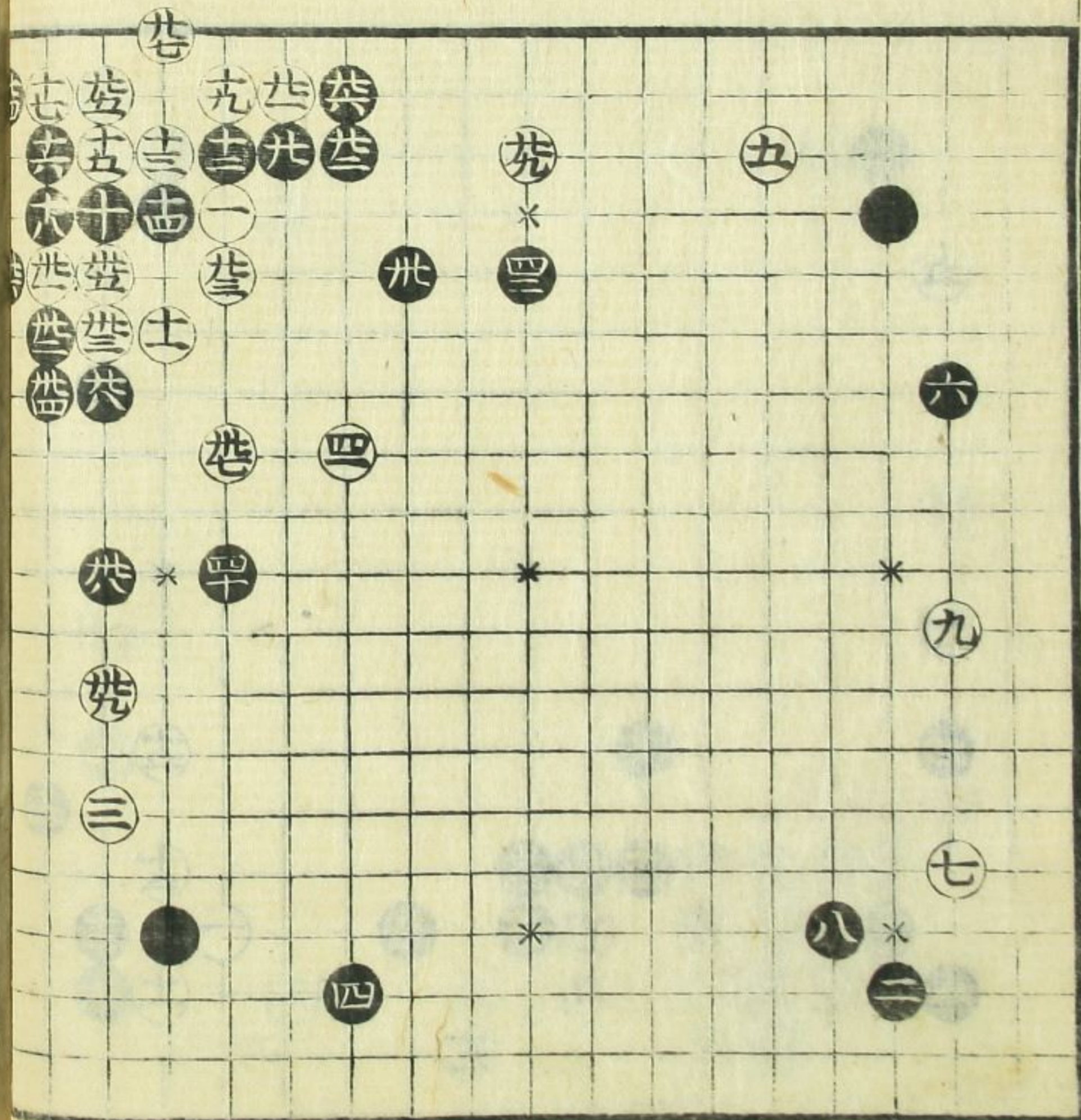
四拾番碁立

附卷局機

玄々齋主人編集

古今碁經拔萃

全部
 四冊



此書は近年寫本を以て用ひ其れは皆寫し誤り少
 のり今といひ不善本といふこれを正し上
 達人共て校訂を爲め良工のありて附板を
 出に高子のすゝる名人方以ぬるも便を兼
 せり一本に圍碁小教の雅君常に碁石の
 並く懸架ありは上のりし上達連珠なり

近世用ゆる所の石を隅乃定石を以て又早碁
 碁の性質名人本因房道智先生常に圍碁
 教諭に及ぶ法として實に碁易の石配と
 附卷局機に及ぶ方々を之に用ゆる所
 亦方々表されし裏と裏の碁と碁と撰し書
 古今名人の碁の二三を以て吾輩の初め
 碁の法を以て此道に心を盡しむる人
 後深の初めと云ふは圍碁に及ぶ一冊あり

服部因淑先生著
石立
稽古置碁自在
全部
拾冊

上帙四冊 百四十四番
下帙六冊 百五十五番
右合於碁經次第上巻を下帙多合巻の中

安井仙知先生著

河洛餘數
全部
四冊

畠中哲齋先生著

對勢碁鏡
全部
四冊

林元美先生著

碁經精妙
全部
四冊

唐上清人の打碁を合刻也

三大家先生著

碁立手引集
圍碁秘訣
全部
三冊

古今齋主人編集

古今碁經選粹
全部
四冊

本因坊丈和先生著

國技觀光
全部
四冊

鈴木知清先生著

對手百談
全部
四冊

これぞ古今碁乃書なりといふも井田正石を以てしは誤なり夫れ當流の碁乃書なり初學者の爲めにも當るなり此の書は碁乃書に由りて打碁の百勝の手記を以て編纂せしむるなり其の書は碁乃書の精華なり其の書は碁乃書の精華なり其の書は碁乃書の精華なり

此書碁家法先を以て編纂せしむるなり其の書は碁乃書の精華なり其の書は碁乃書の精華なり其の書は碁乃書の精華なり

碁乃書の精華なり其の書は碁乃書の精華なり其の書は碁乃書の精華なり其の書は碁乃書の精華なり

先哲衆師の遺訓なり其の書は碁乃書の精華なり其の書は碁乃書の精華なり其の書は碁乃書の精華なり

名人古本因坊先生元祖安井先生乃定石指南乃國式碁乃他日りの有り附録の秘訣を以て先生乃法を以て碁乃書に記す先生十七ヶ條教訓の秘訣を以て碁乃書に記す初巻の一冊也

碁乃書の精華なり其の書は碁乃書の精華なり其の書は碁乃書の精華なり其の書は碁乃書の精華なり

高時考し門人より之を傳へて碁乃書の精華なり其の書は碁乃書の精華なり其の書は碁乃書の精華なり

此書碁乃書知筆先生と身事なり其の書は碁乃書の精華なり其の書は碁乃書の精華なり其の書は碁乃書の精華なり

寬政五癸丑歲春發兌

京都

富小路三条下

須原屋平左衛門

心齋橋安堂寺町

大野木市兵衛

賣弘所

名古屋本町

風月孫助

尾張

淺草茅町二丁目

須原屋伊八

江戸

漢書五帝本紀卷之五

賈誼傳

卷之五

大姓

五刑

刑

漢書卷之五

賈誼傳

大姓

五刑

刑

賈誼傳

大姓

五刑

印

漢書

